男一匹ガキ大将

第2巻

本宮ひろ志

東京で大活躍の巻

男一匹ガキ大将

●第2巻●

本宮 ひろ志

東京で大活躍の巻

戸川万吉

戸 川万吉はけんかをするのが三度の飯より好きな暴れん坊だ。

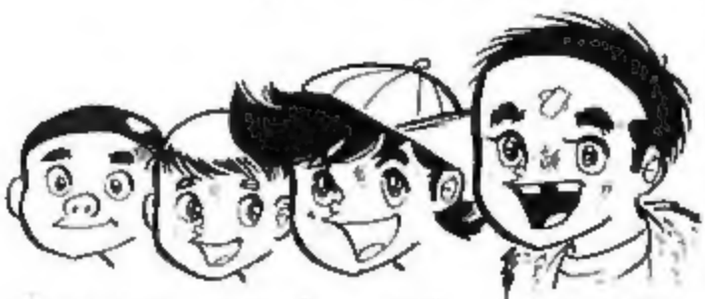
ある日、三人組の脱獄囚から岡野友子を助けだすことによって、いちやく村の英雄となる……。

岡野ゴン太

久保銀次

万 吉は村の小さな子供たちを集めて万吉一家を作るが、海雲寺の和尚に、すっかりやられてしまった。

和尚との約束で、万吉は寺の小僧にされ、人間修業を行うことになる。



ハナクソ　カッパ　ボサ　ラッパ

（万吉一家ジャリ組）

あ る時、万吉は脱獄囚の子供につけねらわれた。わけを知った万吉は少年に思うぞんぶんなぐらせた。

そのことを知った和尚は、万吉が人間的に成長したことを認め、寺から解放した……。

岡野友子

西 海中学の万吉の組に、江戸っ子銀次というシー調な奴が転校してきた。

銀次は万吉が西海中学の番長だと知ると、さっそく万吉に決闘を申しこむのだった……。

海雲寺の和尚

万吉の母親

万吉と銀次の決闘は勝負がつかぬままに終った。

しかし銀次のうしろには、万吉の西海中学を自分の傘下にいれようとたくらむ松川がいた。

この松川という男は180人の子分を持つという大番長であった…。

松川幸太郎

友子を助けてくれたお礼として東京へ招待された。

この頃、松川からけんか状をたたきつけられた万吉は180人の敵が待つ大蛇が原へ、一人でのりこんでいく…。

万吉が東京へ行っている間だけは、西海中学の子分には手をださない約束で、自分を松川たちになぐらせた……。

綱村鉄次

村田

しかし東京から帰った万吉は子分たちが松川たちにやられていたので大いに怒り、松川にけんか状をたたきつけた。

けんか場で、万吉は松川の子分の一人を、日本刀でたたっ切った。しかしそれは万吉のたくみな作戦であった。松川たちをおどろかす芝居だったのだ。

万吉の度胸にほれこんだ番長たちはつぎつぎに万吉の子分になった。

万吉の子分は、じつに千人になった。

だが男一匹、でっかいことをやろうと決意した万吉親分はたった一人で東京にのりこんでいった!!

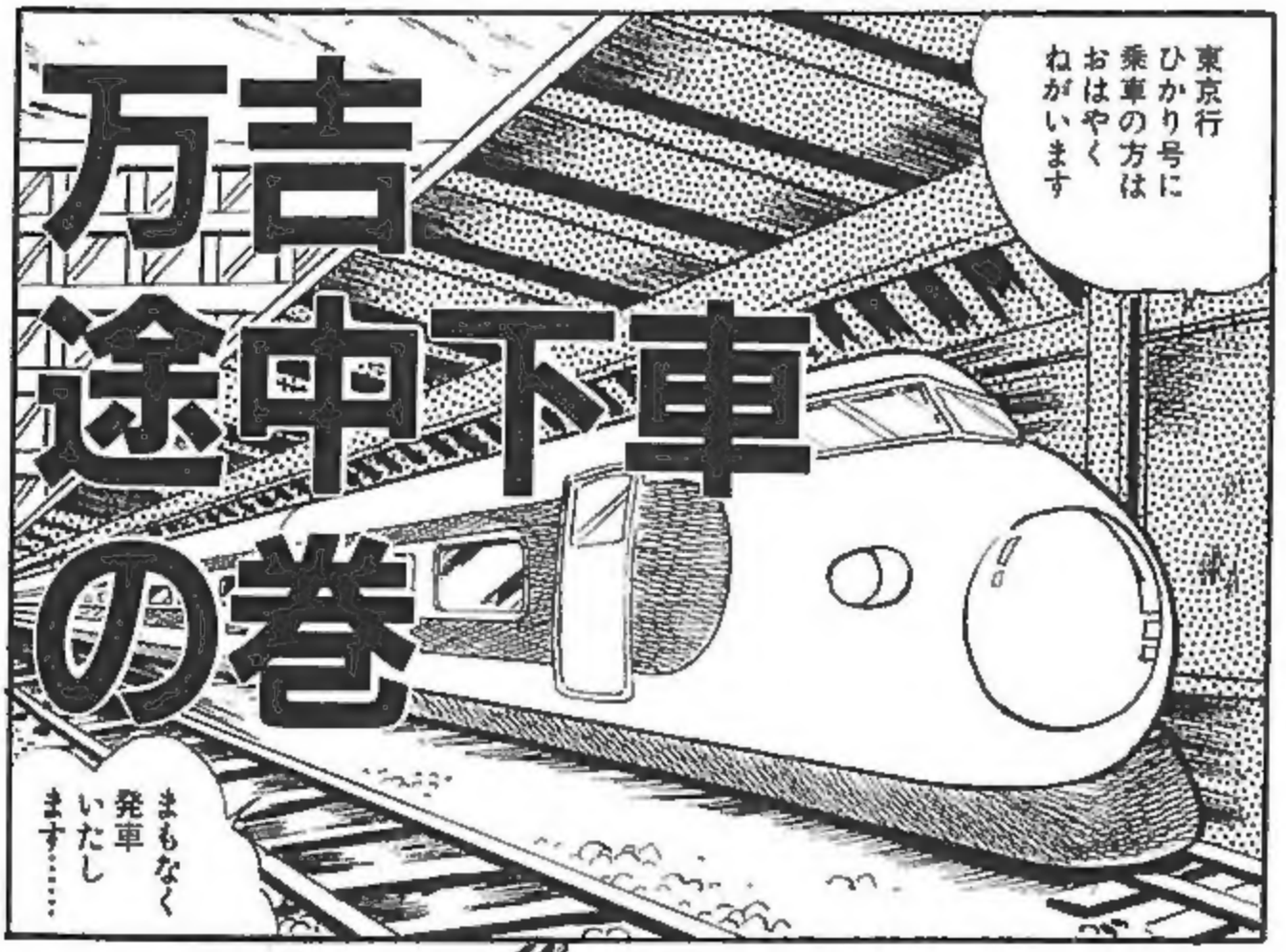
目次

男一匹ガキ大将2

東京で大活躍の巻

万吉 途中下車の巻 …… 8
浮浪者の総大将の巻 …… 38
カスミの大三郎の巻 …… 68
万吉と全学連の巻 …… 96
のっとり屋水戸のおばばの巻 …… 126
万吉 開眼の巻 …… 155
わいはやっぱりアホウやの巻 …… 184

東京で大活躍の巻

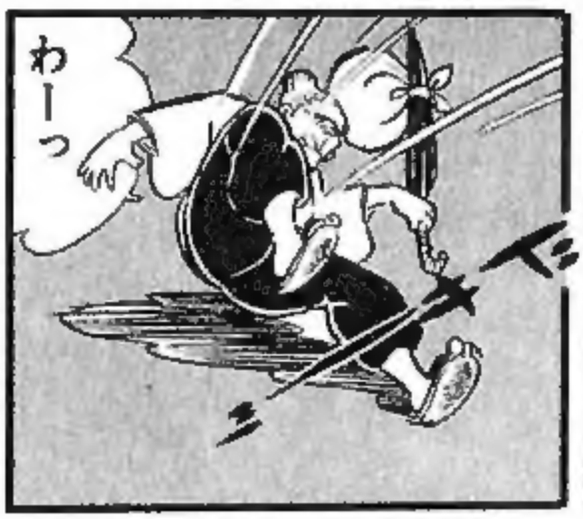

万吉
途中下車
の巻
東京行
ひかり号に
乗車の方は
おはやく
ねがいます
まもなく
発車
いたし
ます……

ごめんよ
!!
わっ
6
よっ
ごめん
なさいよ

おっと
ごめん
よ!!
わあっ
!!

あほんだら
気ィつけ
んかい!!

すまねえな
かんべん
しちくれ
いそいで
るんだ……


わーっ

ごめんよ……
ひゃあーっ
中央口
EXIT

ピシッ

すまねえな……

ぐひひ……
そんなにあわてくさって
ガールフレンドでも見送る気かえ…
イヒヒヒ

すまんすまん
おばあちゃん……
なんのなんの……
EXIT

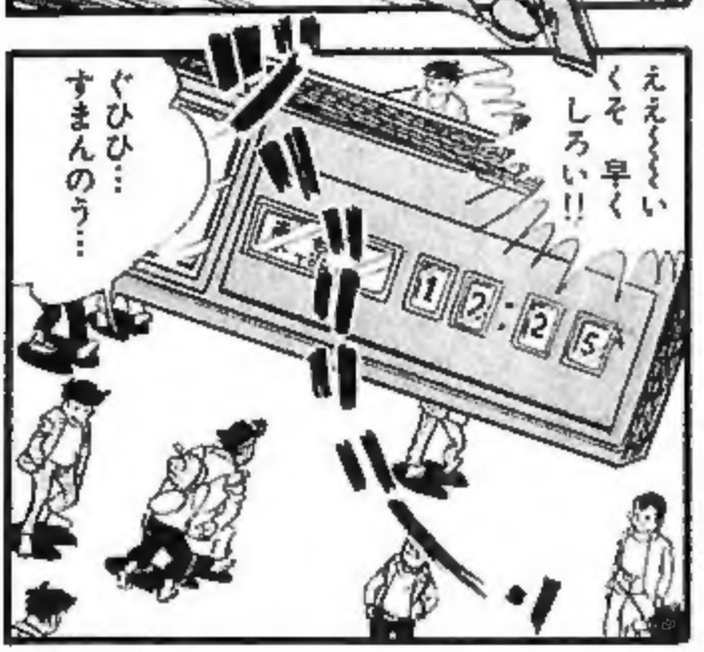
やっ…やだな
そんなんじゃねえよ……

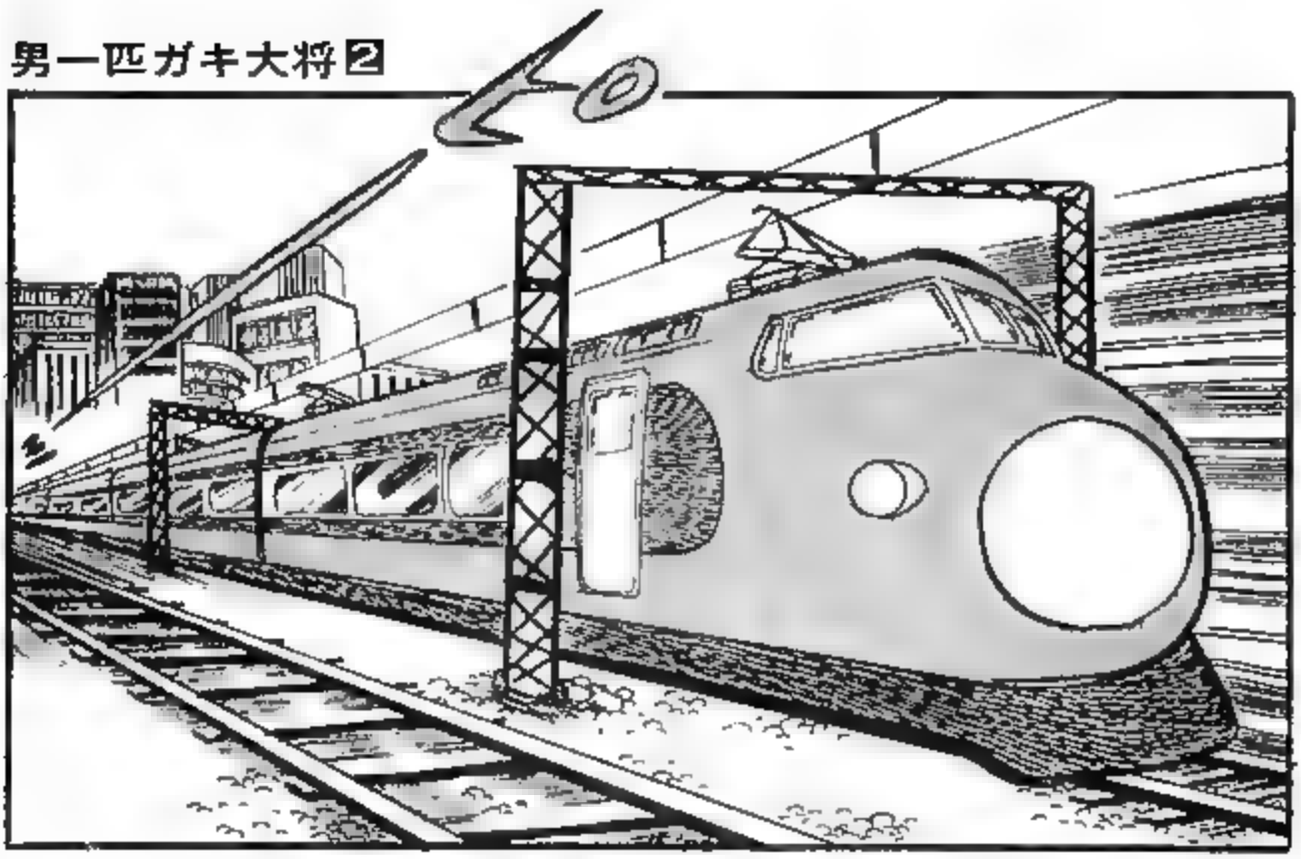
それじゃ　おれっちいそぐもんで……悪かったな……
まちんさい！

なんでえまだなんか用事かよ!!
わしをつきたおしておいてこのまま　行く気かの……

ちぇっ
だからあやまったじゃねえか　おれいそぐんだよ

あやまりついでじゃ　わしをひかり号までおぶって行け……
なにをっ～～～


えぇ～～～いくそ　早くしろい!!
ぐひひ…すまんのう…



フー
やっとまにあったぜ……

ぐうぐう…
ン……

ばばあーっいいかげんにしろ！
ン

なんじゃ眼帯お前ものっちまったのかえ…

わはは……いがいととんまじゃのう……
くく……

いちいち気にさわることをいうばあさんだな
おれっちは眼帯じゃねえ 銀次ってりっぱな名前があるんだぜ
それに おれもこれにのって東京へ行くんだ
最後にひとつおれっちの背中は乳母車じゃねえイビキなんかかきやがって
よくしゃべるのう眼帯
男はそんなにベラベラしゃべるもんじゃないぞえ
くっ…くっ…
おっと……
おれっちはこんなことしてられねえんだ
親分を……
さがさなけりゃ……
まちんしゃい
まだなにか用かよう〜〜

ものは ついでということもある わしの席までおぶって 行きんしゃい
な……
イヒヒ……
ねえおばあさま… わたしがそんなことを すると お思いになられますか…?
そんな 調子のいい 親切な少年に 見えますかしら
あまったれんじゃねえよくそばばあ!!
わはははは
いきむな いきむな
おまえは 絶対にわしをおぶって行く……
顔にかいてあるぞえ
ン……
かよわい者をみたらほっとけんとな
わっはははは

いまどき
めずらしい
孝行な
少年ですな
……
ほんとに
ねえ……
あんな
お孫さんを
もって……
しあわせ
です
こと……

はっはは!
ほほほ!

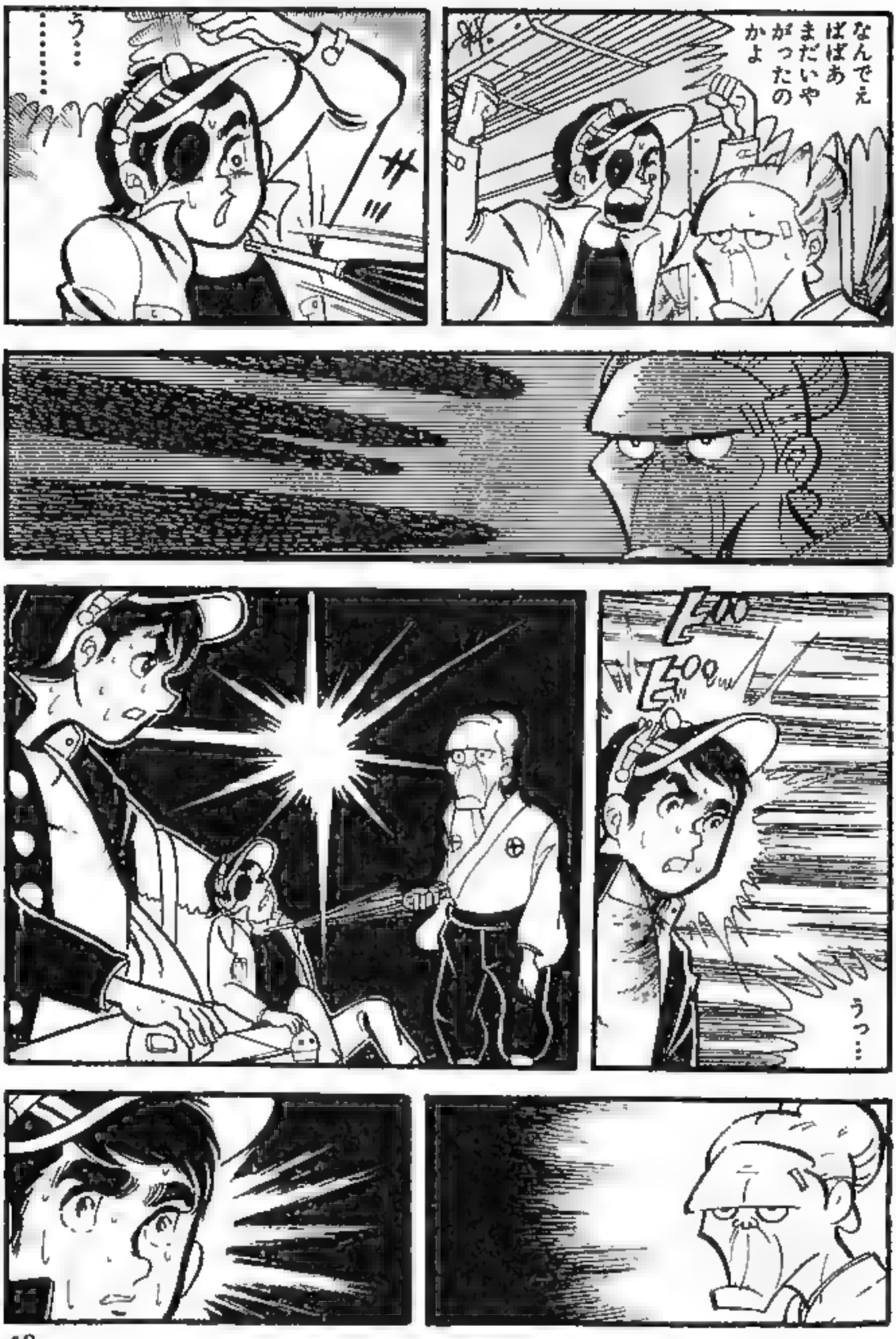
どうじゃ
とくをした
だろうが
わしを
おぶって
はっはは
ポン
くっ……

こらーっ
よそみしとらんで 早く歩かんかい……
ボカッ
うっ!!
この～～っくそばばあいい気になりやがってえっ
眼帯おまえだれをさがしとるんかえ…
親分だよ…
なんと……それじゃお前はその若さで極道者かえ
そんなんじゃねえよ……ああ……
泣くことはあるまい泣くことはイヒヒヒ……
あっ

わーっ
親分!!
ぎやっ!!
銀次!!
へいっ
!!
どないしたんや……
なんで こっ…
こんなところに……
ぎ!!

ン…
親分がでたあとすぐおっかけてきたんです
なっなんでやまた!?
西海駅ではみんなの　てまえもありましたんで……
ついて行きたいのは　おれっちだけじゃないもんな　みんな…みんなだって
親分……みんなにはもうしわけねえが……
おねがいですおれっちを東京へおともさせておくんなさい

おまえは……江戸っ子だったなあ…
へい……
わい 東京はようしらん……
たのむで……わいの方からなあ……
お……
親分……
ありがてえありがてえなあ……なあ……
あほう……礼をいいたいのはわいのほうじゃ……
へい……
あれっ銀次でもなくことがあるのんか
えっ……
いっ……いや そのあの……えへへへ……
おっ


う……
なんでえ
ばばあ
まだいや
がったの
かよ
ヒュン
ヒュン
うっ……

ぎ……
銀次……
このばばあ
なに者じゃい
やい
ばばあ
親分まで
からかおう
ってのか
よ!!
うわっ
うおっ
……

ドン!!
お前にしてはなかなか目のこえた人えらびじゃ……
わっ
ばばばばばば
くっ…
くそうぅぅっ
このばばあ!!
えらい!!
よよっ!!
おまえがいうとった親分とはこの子かえ
そっ…そうよこのかたが万吉親分でえ……
くっ…

はっ
せいぜい
いいコンビを
くんで…
まんざい
でも
やるん
じゃのう
かっ
会長
!!
あっ
わっはは
ははは

ばか者め
わしをほったらかしておいてどこへ行っとったか!!
ははーっ

ン……

ははっ
もうしわけありません
まったく
どうも……
はあ……

はっ…
まことにもうしわけございません
そっ…
それがいろいろ雑用におわれているうち…
そんなことはりゆうにならん!!

われわれのことはあとで処分ねがうといたしまして…
あちらに席をとってございますれば……
ウムッ

そうとも関西に一千人の子分を持つ万吉親分よ

万吉……とかいったのう…
あんたは……

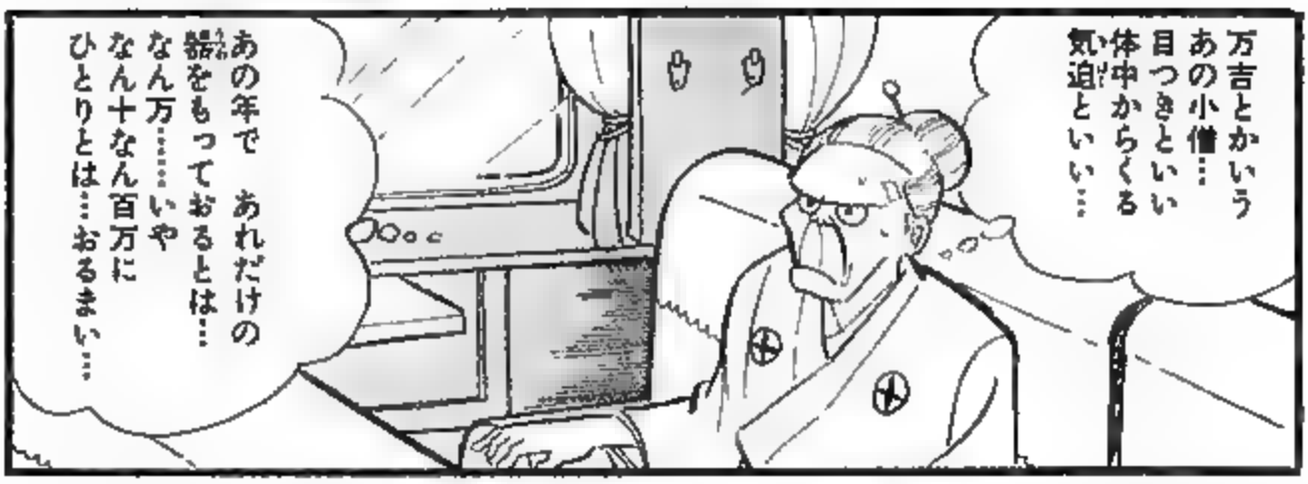
もし…わしにあいたくなったらここへきなさい

水戸証券
取締役会長
水戸正江

いつでもまっておるぞえ……

へーっ
ばあちゃん
あっ…
あんた
えらそうな人
らしいけど
なに者でえ
ふふ…
わし
かえ…
わしは
水戸屋商事
会長…
水戸正江
人は
のっとり屋
水戸のばばあと
よんでいる
……
ええっ
!!
なん
だって
あっ…あの方が
会社のっとりの
名人…
天下に
ひびく
水戸の
ごいんきょ
のっとり
屋〜〜〜っ
なんでえ
そりゃあ
〜〜〜?
はっははは
お前らは
まだわからん
でいいんじゃ
そんなことを
知るまえに
もっともっと
やることみること
がたくさんある

ねえ
親分…
ケッ
わけの
わからねえ
ことばかり
いいやがって
なんでえ
ばばあめ
ぶつぶつ
ぶつぶつ
はは
は
オヤブ……
わあ
ーっ
ぶるぶる
わあっ
たいへん
だ…
親分
どっ
どうしたん
ですかい!!
万吉親分
!!
なぜ
/

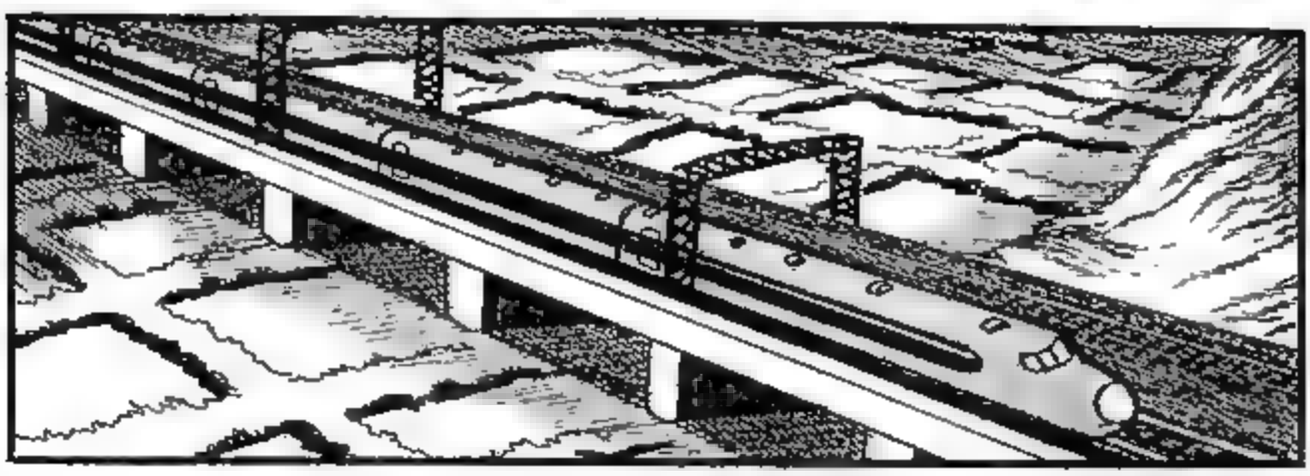

万吉とかいう
あの小僧…
目つきといい
体中からくる
気迫といい…
あの年で　あれだけの
器をもっておるとは…
なん万……いや
なん十なん百万に
ひとりとは…おるまい…

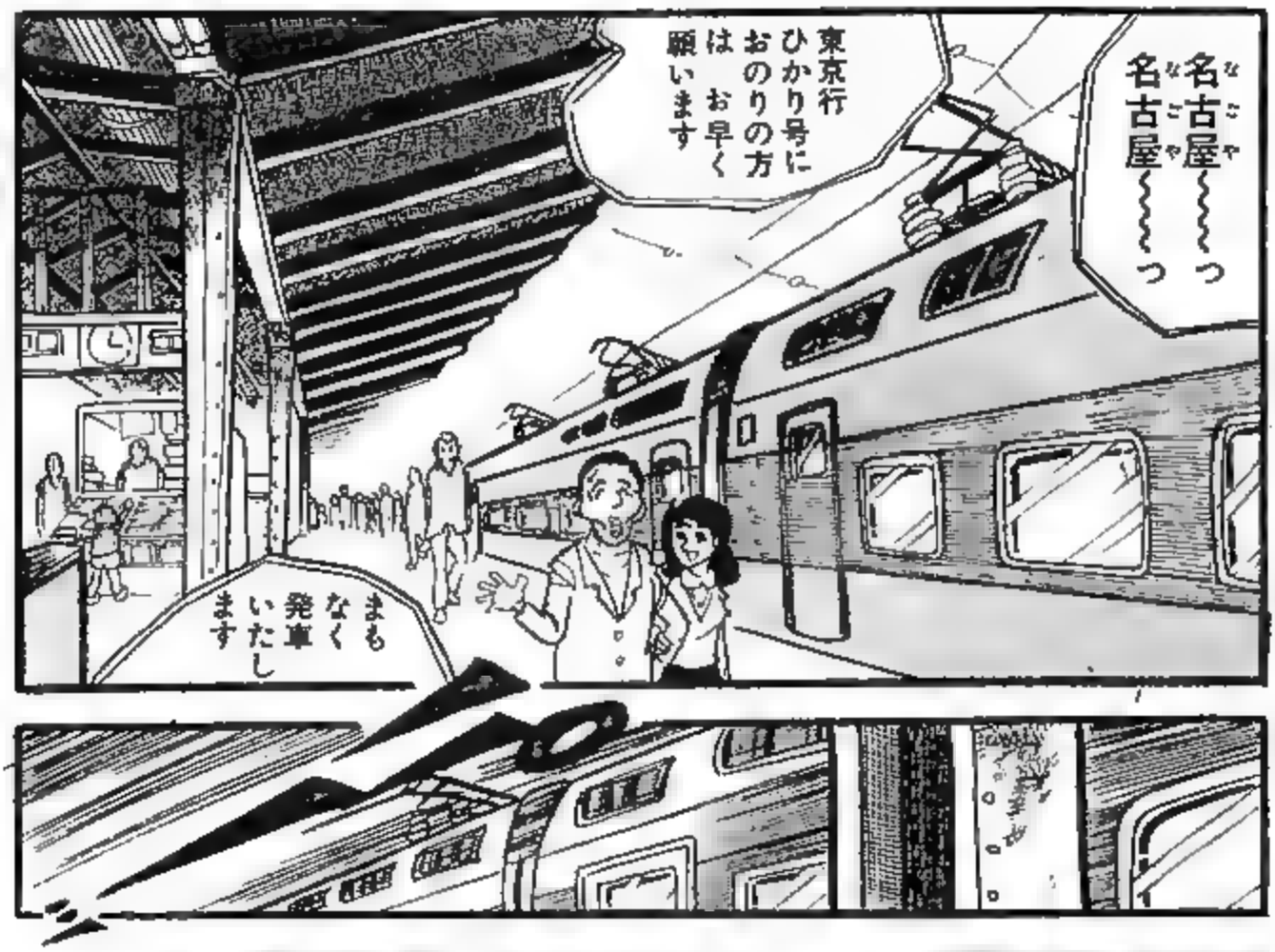
おそらく
自分でも　気が
つかんうちに
なんでもかんでも
吸収して
どんどんでかく
なる男じゃ
それだけに
きけんも
おおい……
……
しかし……

ふふ…
すさまじい
大物になるやも
知れんぞえ

武田信玄に対する
山本勘助……そんな軍師がいたら

あの小僧に……玄徳に
対する孔明

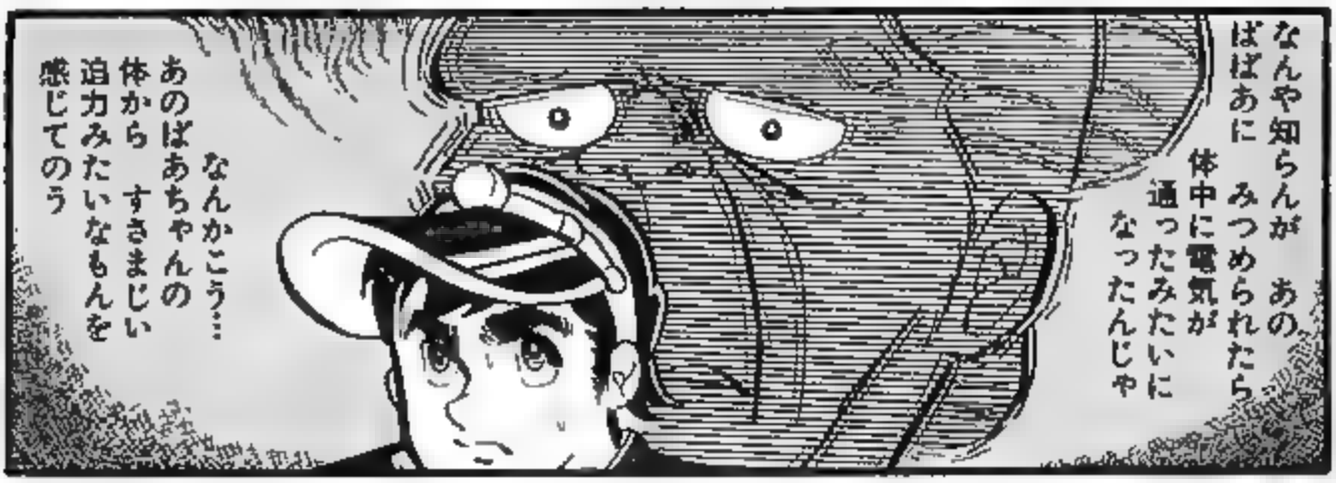



名古屋〜〜っ
名古屋〜〜っ
東京行
ひかり号に
おのりの方は
お早く
願います
まもなく
発車
いたし
ます

フーッ

だっ…
大丈夫
ですかい
親分……
あっ
ああ
平気や

しかし…びっくり
しましたぜ
いきなり
アワをふいて
ぶったおれる
なんて……
……
……

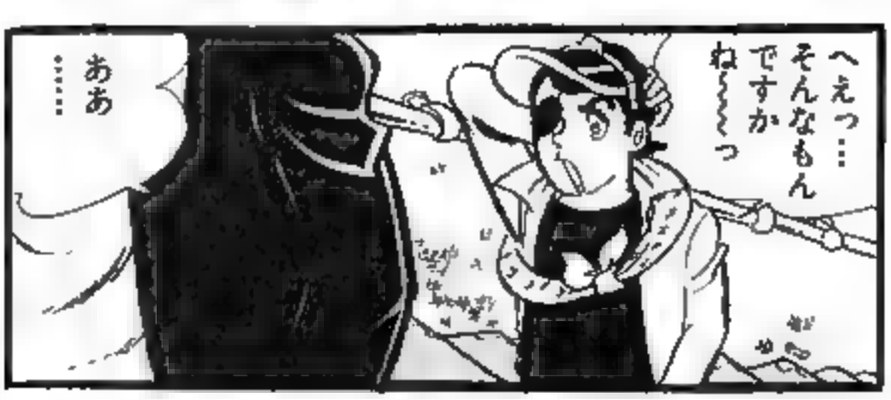

なんや知らんが あのばばあに みつめられたら 体中に電気が通ったみたいになったんじゃ
なんかこう… あのばあちゃんの体から すさまじい迫力みたいなもんを感じてのう

へーっ……
おれっちはなにも感じなかったけどねえ

体がコチンコチンになってしもうて頭がぼーっとしてきたんや
あんなおっそろしいばあちゃんにあったんははじめてじゃい

で…でも列車をおりちまうって手はねえでしょう
あほうめあんなばばあが一緒の列車にのってられるか
死んじまうわい…

しかし あのヨボヨボの体の中になんで あんなすごい迫力があるんじゃ
なぐりあいのけんかをしても勝てんかもしれん……


へえっ… そんなもんですかねーっ
ああ……

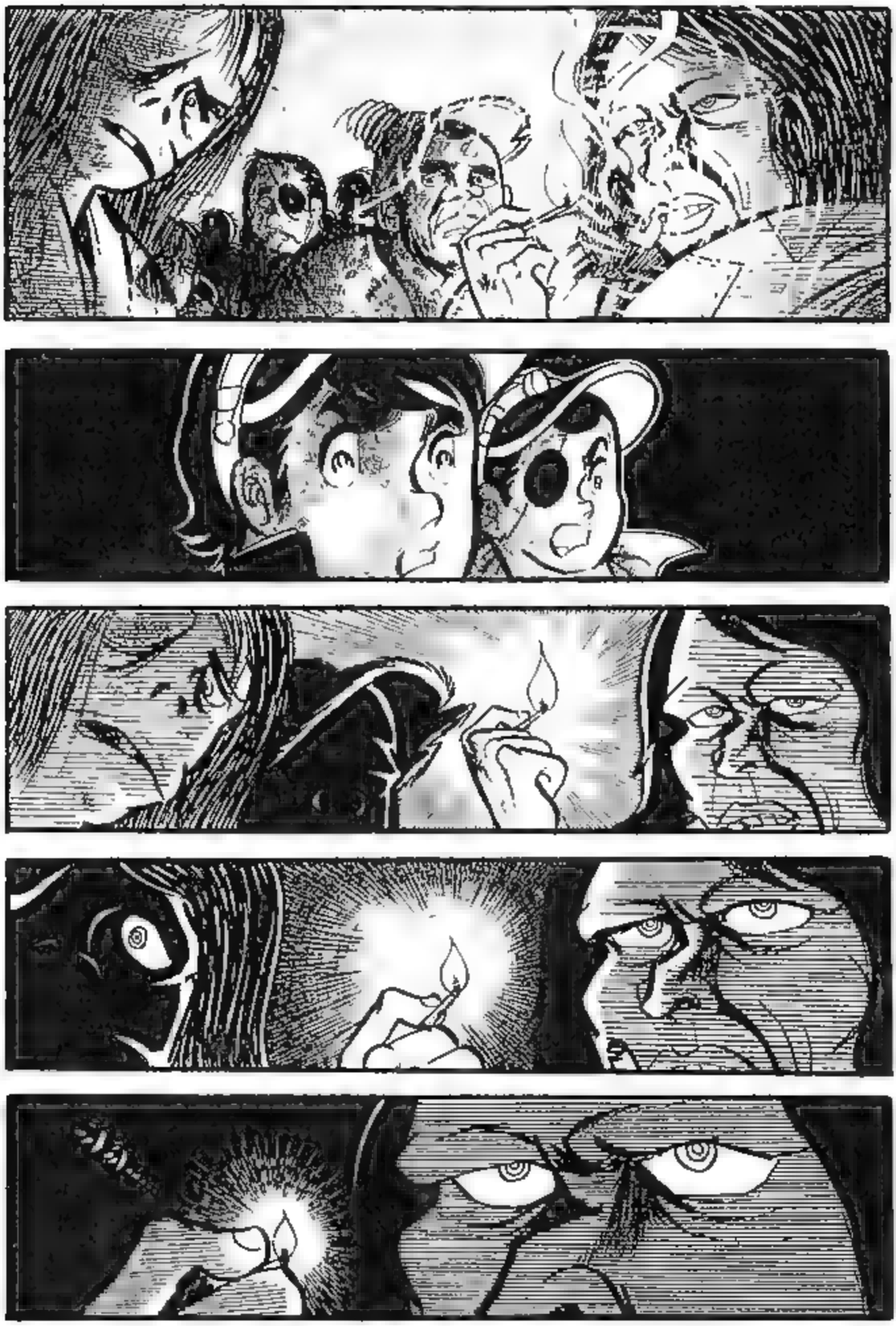
お……親分だめだ
おりゃあもうだめだよ～～っ

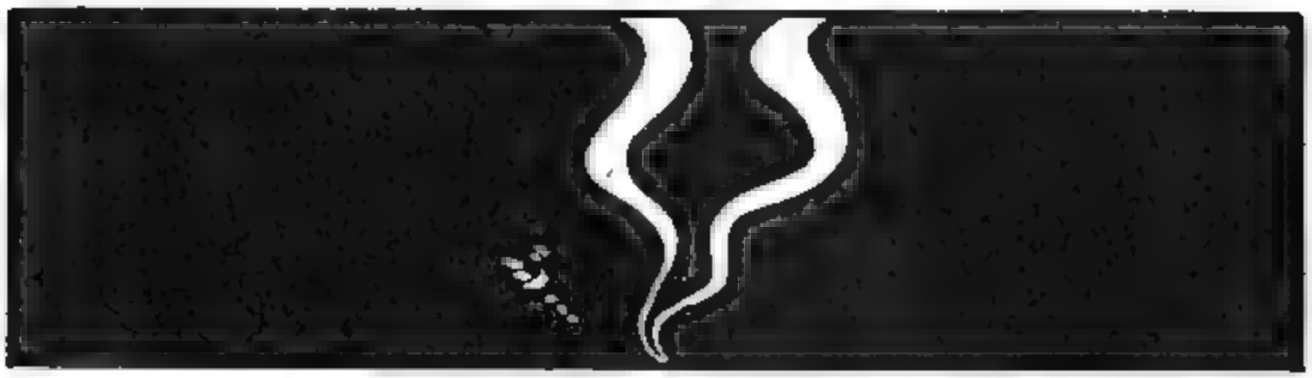
なんやもうあかんのか……
へい

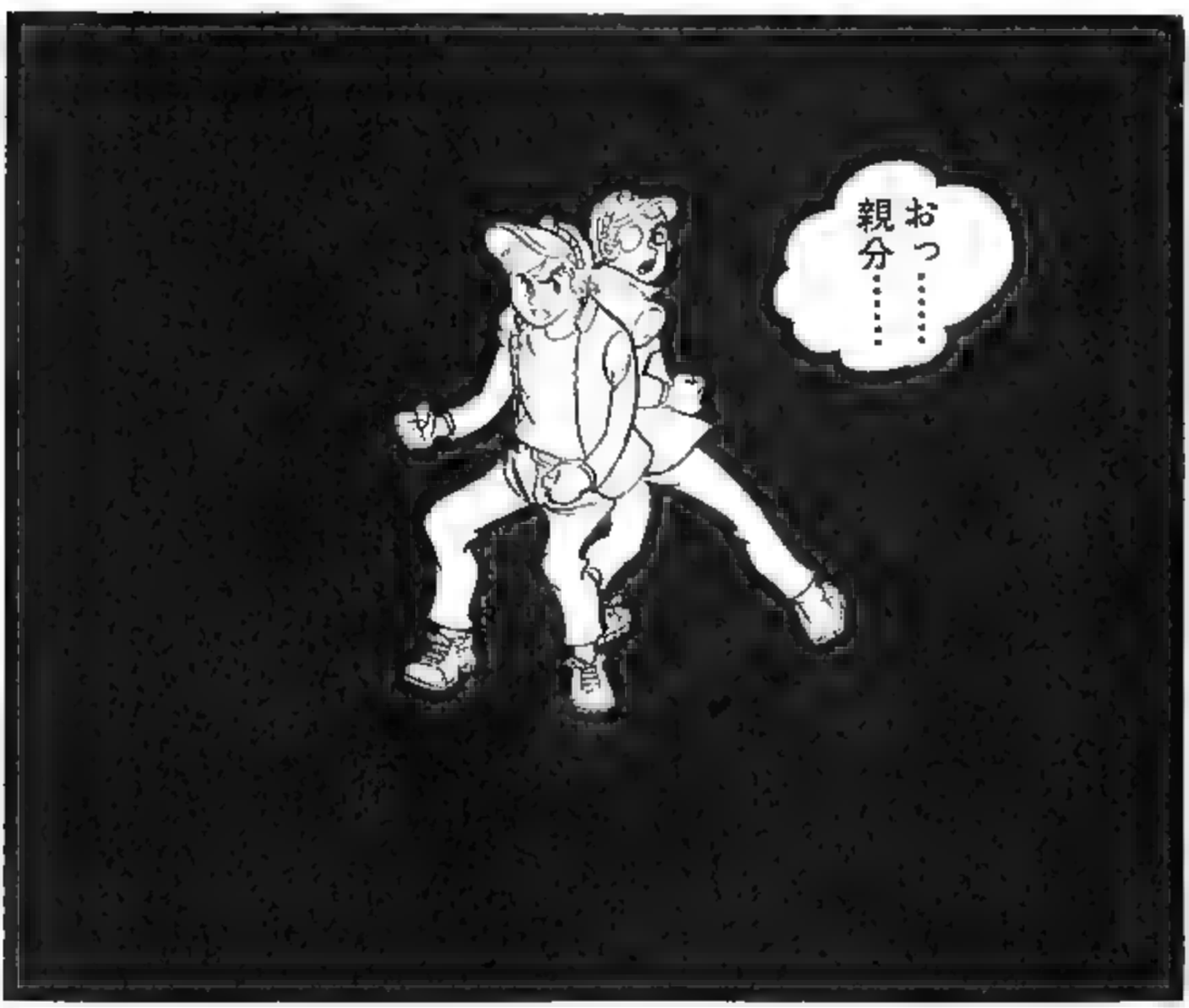
たまには歩くのもええもんやなあ
はは…
へえ？
だけどよう親分……
ン……
あのばあさんがのってるから列車をおりたといいましたけど
まさか歩いて東京へ行くのだとは思いませんでしたぜ…
なんでなんすか…
学校も春休みやしまあ　のんびり行こうや
へい……へい親分がやるんなら何でもやりましょう
あのばあちゃんがいったやろ……
まだ知ること見ること がいっぱいあるって

ばてた～～
もうだめだ
わいもや……
あかん 一歩も
うごけんでえっ
ハーッ
フーッ
……
ねえ 親分…
今晩のとまり
どうします
……
どない
しょう……

しかたがない
土管でも
みつけて
ねるか
へい
……
しかし ここは
いったいどこや
ろなあ……
さあ……？
こう まっくら
では 土管も 探し
ようが あれ
へんて……
へい
銀次!!
なんじゃい
いまの音は…
犬か猫じゃ
ないですか
……？
ちっ……
ちがう
人間の気
配や…
人間？……
こうっ






おっ……
親分……

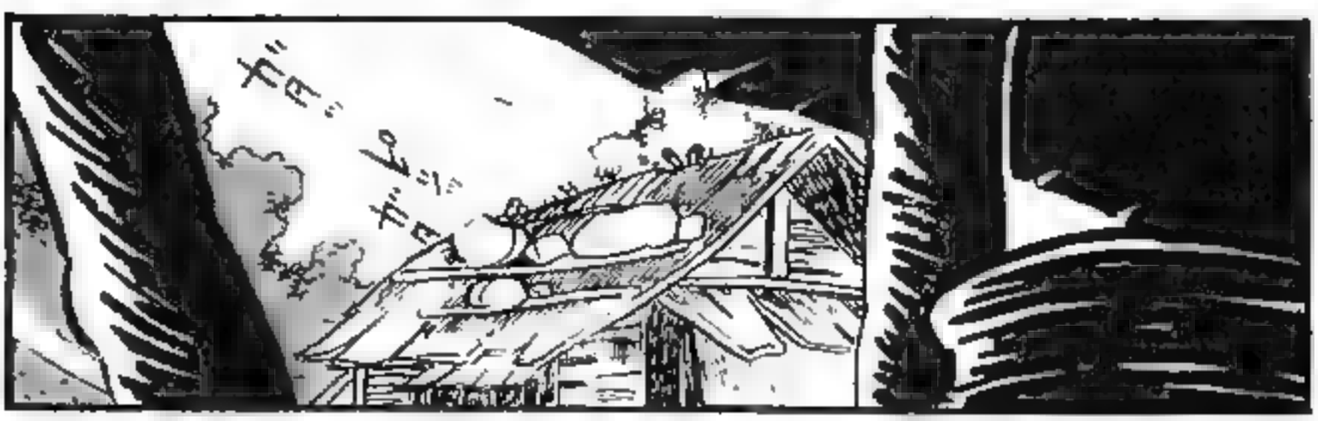
総大将の巻

浮浪者の

ケッ
びっくり
させくさって
え〜〜っ
ただの
浮浪者や
ないけ
……

こんな所に長居は無用じゃ
いくで銀次…
へい!!
ン…
ビキッ!!
ビビッ
ビビビ…
なんじゃいおんどれら
じゃましくさる気か!!

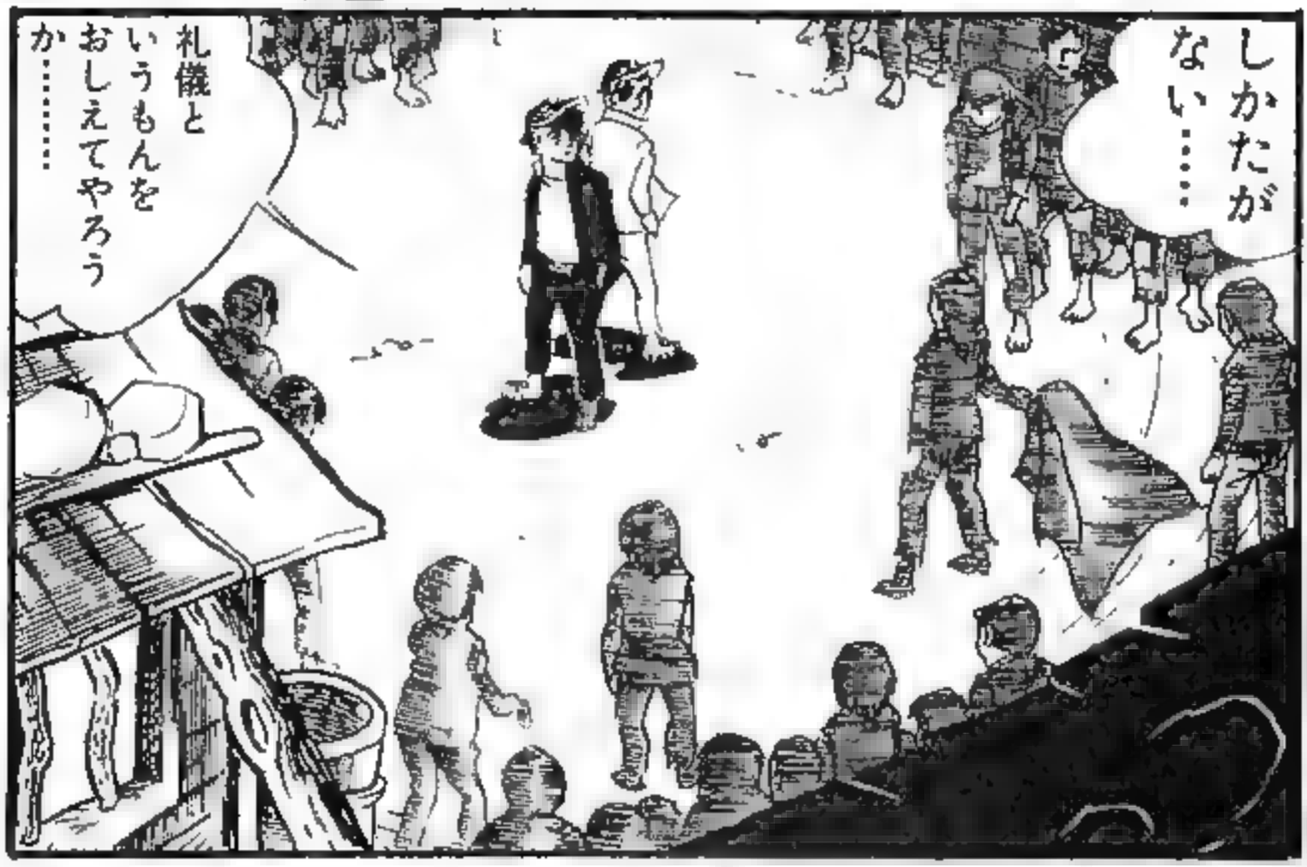
わいはな…
浮浪者なん
ちゅうもん
は……
だい
っきらい
なんじゃ
い!!


ゴゴゴ

自分たちで
働きもせんと
他人から物を
もらってく
らすなんぞ

人間の
カスじゃ!!

礼儀をしらんらしいのう……
小僧……
なにいい～～～っ
他人の家へあがりこんでの悪口雑言
許しやーしねえ
ケーッしゃらくせえ!!
てめえら浮浪者に対する礼儀なんぞもちあわせとるかい!!
ホレ!


しかたがない……
礼儀というもんをおしえてやろうか……

ケッ
やる気か……

相手になったるわい
銀次!!
おもろい浮浪者の百人や二百人万吉にとっちゃへでもあらへん
おおさっ!!

やれ……

ぎゃー
ははは
きいっ
ひひ
ひー!!
くそっ
たれーっ
ケーッ
へへへ

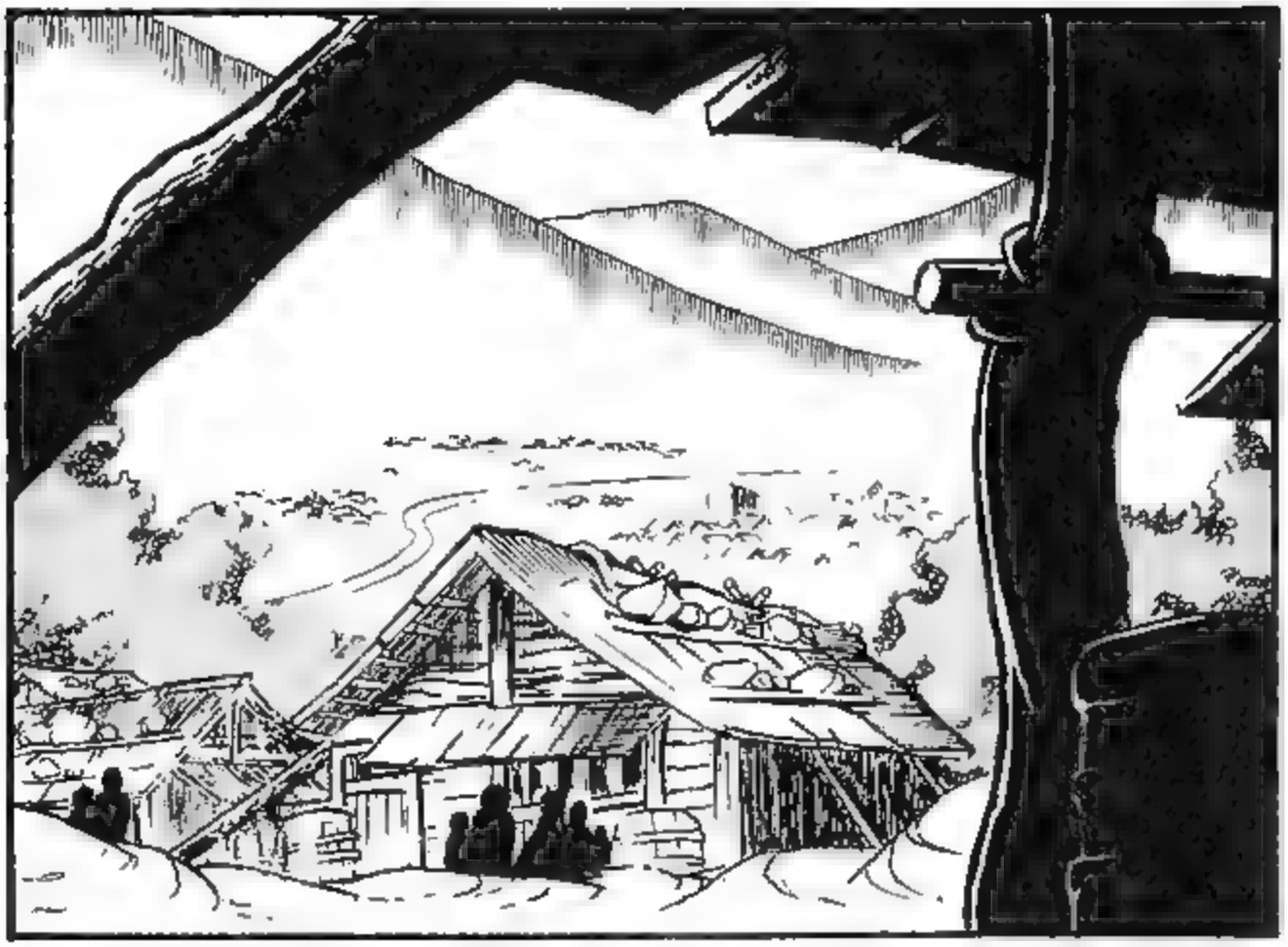
イッヒヒヒ……
ゲシー
シシ……

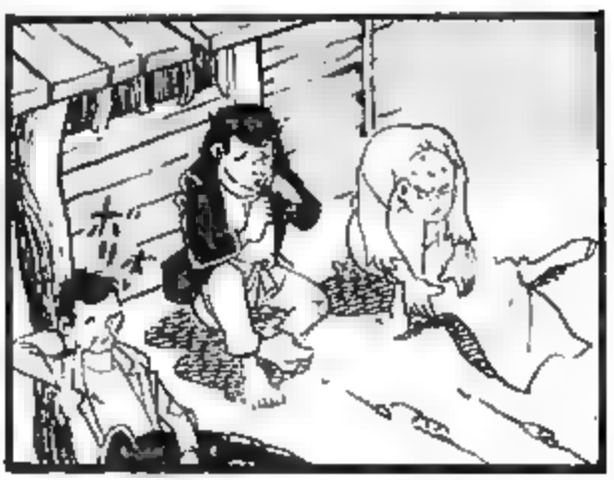
銀次くらいからはやいとこ目をならすんじゃ……
へっへへへけんかはじめて十四年まかしといておくんなさいな

きゃあああー
ちいっ
シャッ

ぎゃ!!
ぐう……
銀次……!!
う!!
うわーっ!!

ぎゃあっ
ひひひひ
ひゃあ
ははは
うわーっ
ドド
ドドド
ドドドド
ケッ……
いかれた
らしいぜ
……
どこか
へすてて
こい……
ああ
……
ボボ




ホリホリ

ほれっ
ホリホリ
ああ…

さいきんは
ここいらも
すみにくく
なったのう
……
まったく
じやで

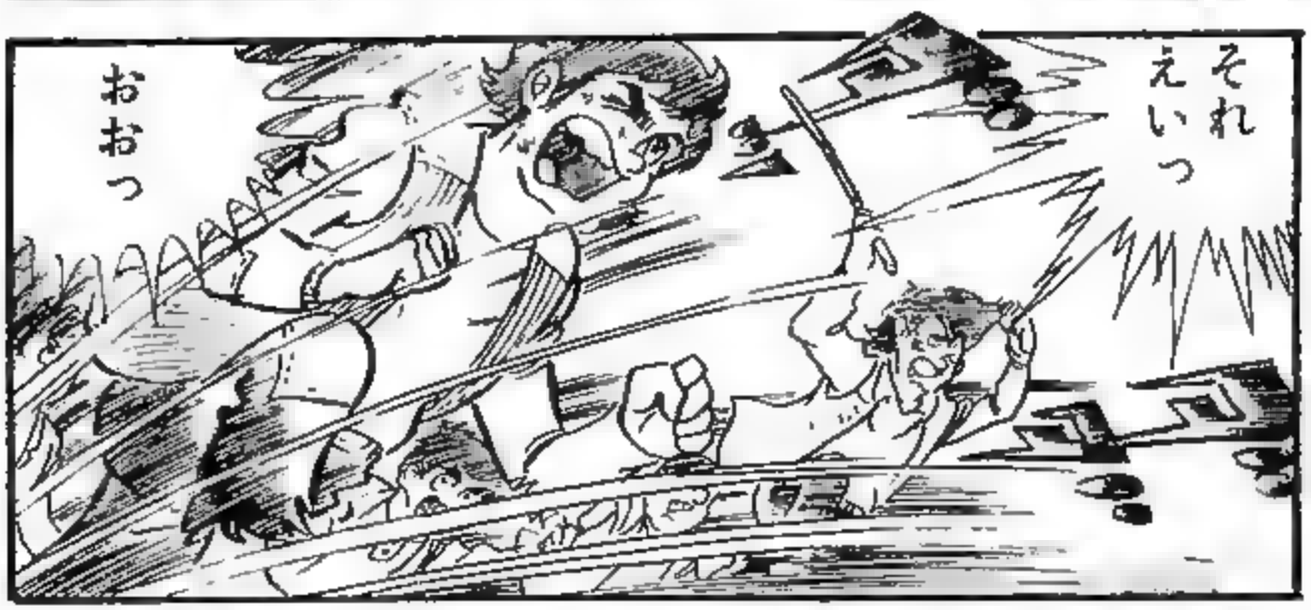
めっきりもらい物が少なくなったわい
世の中の景気はまんざらでもあるまいに
まあ国が豊かになっとるちゅうにもらい物が少ないってことはやっぱり人情がうすくなったってことかねえ
そうじゃ…そういえば近ぢかおん大将がおみえになるそうじゃで…
ほーっそれはそれは
おん大将のおかげで安心して浮浪者をやっとられるんじゃからのう
まったくだぜ…
はっはっはっはっ
…ン……
は……
うっ
うわっ……

ゆうべの
つづきを
やりにきた
ぜ……

ふふ……
コリもせずまたひっかえしてきたのか……小僧
当たり前じゃ浮浪者にぶちのめされてすっこんだとあったら!!
戸川万吉末代までのはじじゃい
ゆうべはくらやみで目がきかなかったからこんなめにあったが……

こんどはぶちのめしたるわい!!
そうはいってたまるか
この小僧
浮浪者のおれたちに真剣になってやがる
ふつうの人間なら近づくのもいやがるおれたちに
本気でぶちあたってきやがる
なにをぶつぶつぬかしとるんじゃい
用意はええんか!!

りきむな
りきむな
慌てんでも
またゆうべの
ようにして
やるわい


それ
えいっ
おおっ

まだ
えいっ

かっ……頭……
いっ…いつ帰られたんですか？……

こっ……こいつも浮浪者なんか！
こんなにはく力のあるやつが…

わしは……るすの間の話はきいた
でてもらおう……

へっ
なっ……なっな…

この少年に手をだした者は…
一歩前にでてもらおう……

へっ……
へえ……
ぞろ…
ぞろ…

ちいっ!!

うわっ!!
あわっ!!

あうう…
うう…
だっ……
大丈夫か
い！
あんた
ら……

なにさらすねんこら!!
この人たちはおんとれに何もしてへんやないけ

浮浪者というものはよくもみえも世の中をもすてて生きている……
なんにもそくばくもされずただ生きていることをたのしむ

それが浮浪者として生かしてもらっている唯一のきまりだ……

そんな人間が一般の人たちをきずつけることは……
ぜったいにゆるされん……

わしの配下の者がしたことは
頭たる……この坊谷津光五郎の責任……
殴るなり蹴るなり自由にやってもらおう
なっ……
なにいい～っ

ちっくしょう…

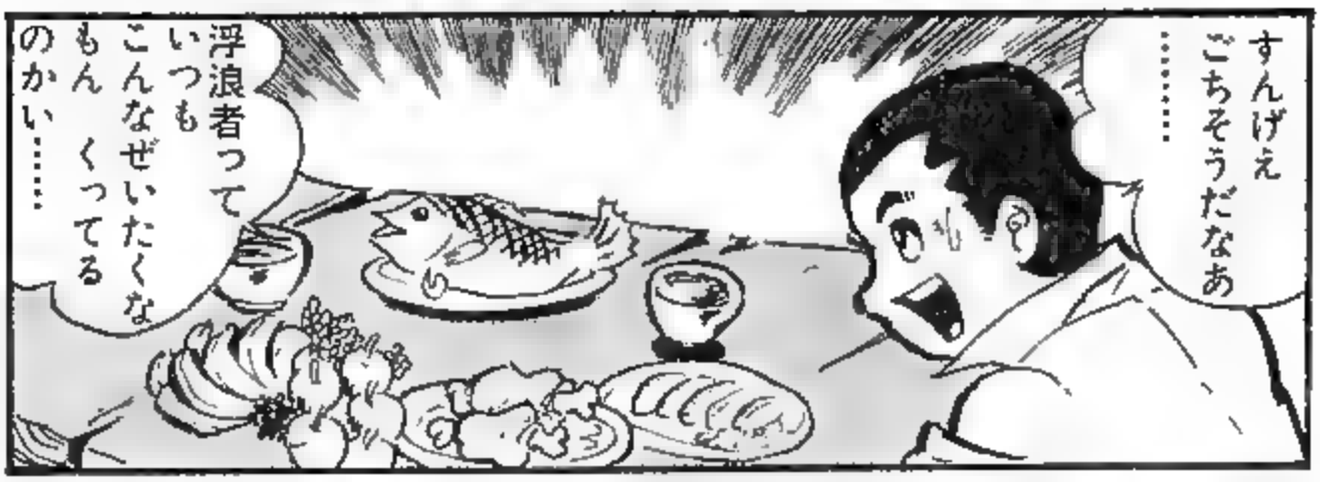
はずかしいわい！
おっ…おやぶん

考えてみりゃわいが悪いのやないけ……
あんたらをばかにして意地をはってたんや……

たつせがあれへん

わっはは
はは
ゲェ
ゲッ
ゲッ
ゲッ

あいにくとなにもないが仲なおりのしるしだ……
どんどんやってもらおう 万吉親分に眼帯の銀次さん……
ひえ〜〜っ


すんげえ
ごちそうだなあ……
浮浪者って
いつも
こんなぜいたくな
もん くってる
のかい……

うめえっ
なあ
なんだい
……
これ……
蝙蝠の
天プラだ

こうもりって
て あの……
空をとん
でる
そう
……

あっはははは
はは!

あは
……

まてよ あんた
いま わいらの
名前をよんだ
な……
うむ……

わいは
おしえた
おぼえは
ないで
ふふ
……

戸川万吉　十四歳　この春から
中学三年　関西に一千人の子分を
もつガキ大将　しかしながら
けんかにあき東京に夢をたくし
母親シズ子とわかれ
上京する途中……
その子分
久保銀次　または眼帯の銀次
両親に死にわかれ　親せきを
たよって
西海へいく　そこで万吉親分
にあい　男が男にほれて
万吉の子分となる

のっとり屋の
ばばあが一目
おくだけのこ
とはある
ふふ……
落ちてたよ
この名刺
なんでや
……

なんでなにも話さんのにわいらのことがわかるんじゃい？
わしらの仲間は日本全国におるそのくらい調べるのに半日もかからんね

その名刺の水戸正江というばあさんはな日本財界の大物じゃ…

ガブッ
あのばあさんめったなことでは人に名刺を渡さんあんた　かなり気にいられたらしい

確かに　あんたは人をひきつける魅力を持っている
生まれつきのな……

たから　おとなしい浮浪者たちまてゆうへはあんなことをしたんだろう……

どういうことじゃい!!

つまり あんたが浮浪者を嫌いということはそれでいいんじゃ
きらいなものは誰でもきらいだからのう……
ただそれを真剣にいった……
真剣に浮浪者を相手にした……
それがみんなの心を 動揺させ興奮させたんじゃ
真剣に相手をしてくれる者はたとえけなされてもうれしいものよ
あわせよう……
ン……
だっだれにや…

わしらのおん大将じゃ……
おん大将……？

日本全国の浮浪者を支配する……
おん大将カスミの大三郎さまだ……

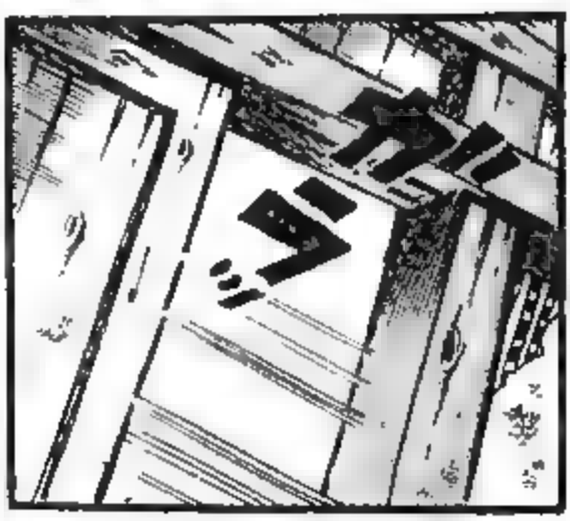
カスミの大三郎の巻

さあ
万吉親分

あっ
ああ……

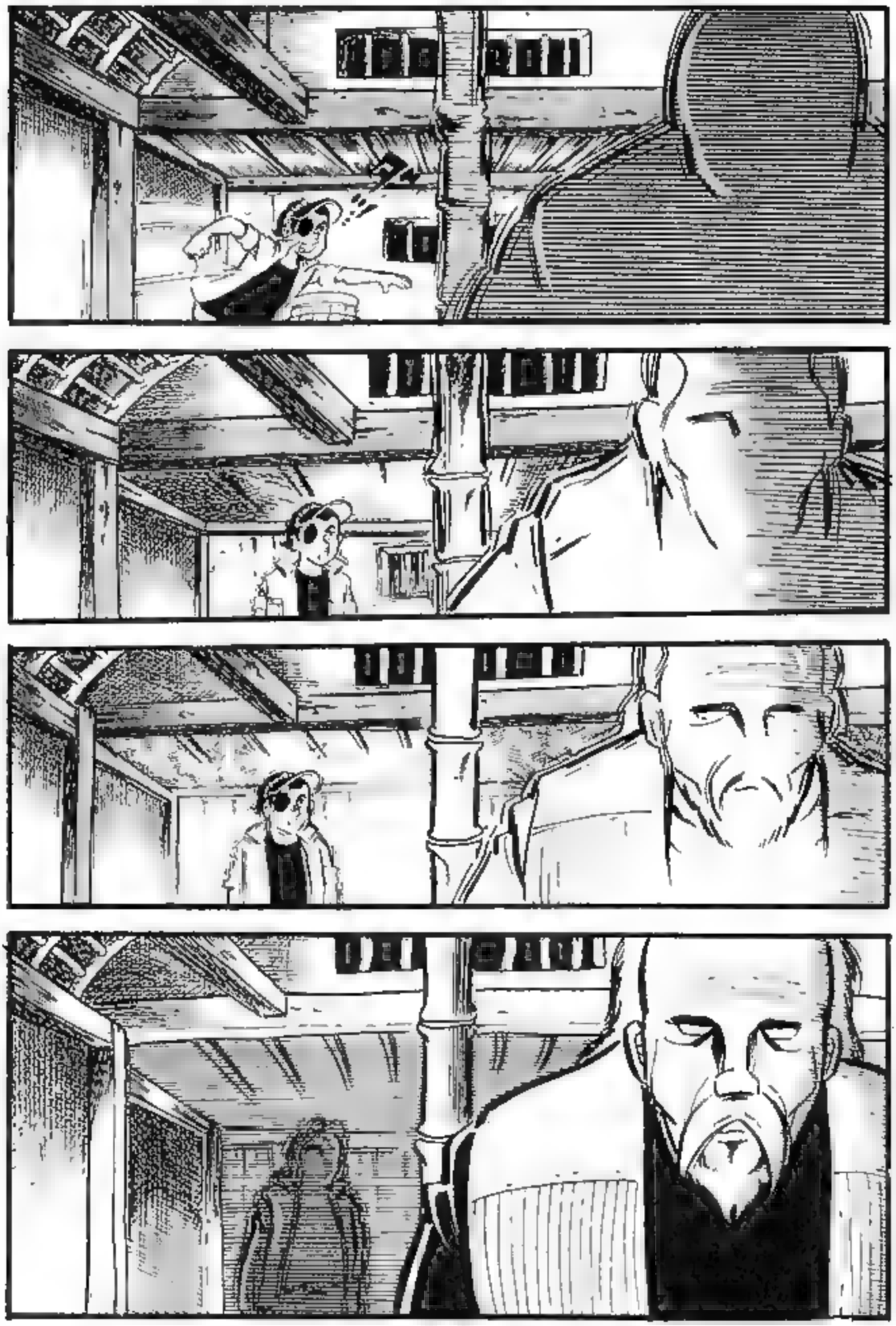
はっ

うっ!!

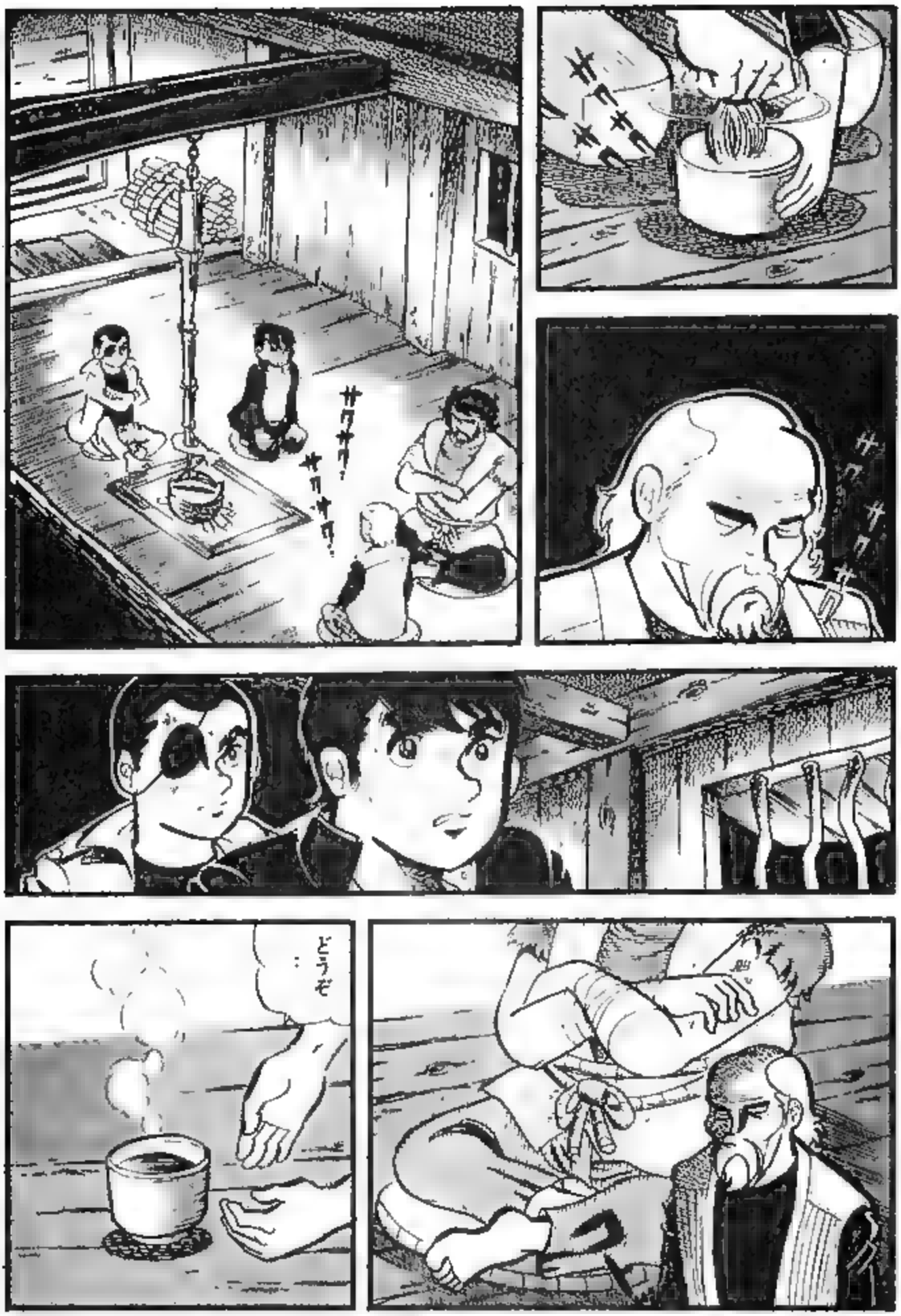

ガル
ラ

うわあ!!
わっ
どうしたんですかい親分!!
はいるんじゃねえ銀次!!
ドン
なっ……な……
はいったらあかん
ばっ
ばけもんじゃ……

えっ
ええ……
この中にあるのんはばけもんじゃ……
はあ…
はあ…
こっ
この小僧
わっ……
わかるか
あのおん大将の
大きさが……
ちっ
くだらねえ
じょうだん
だぜ
親分
ばけもんなんて
そんなもんが
いたら……
この眼帯の
銀次さまが…
よせえ
銀次!!
四つにたたんで
はなをかんで
やらあ!!



ケッなんでえ
つまらねえ
しょぼくれたじいさんがひとりいるだけですぜ親分
はいってきてください
よ
ばっばけもんはそのじじいだよ……
はいらんのかね……
うふふどうした万吉親分


サクサク
サクサク
サクサク
どうぞ

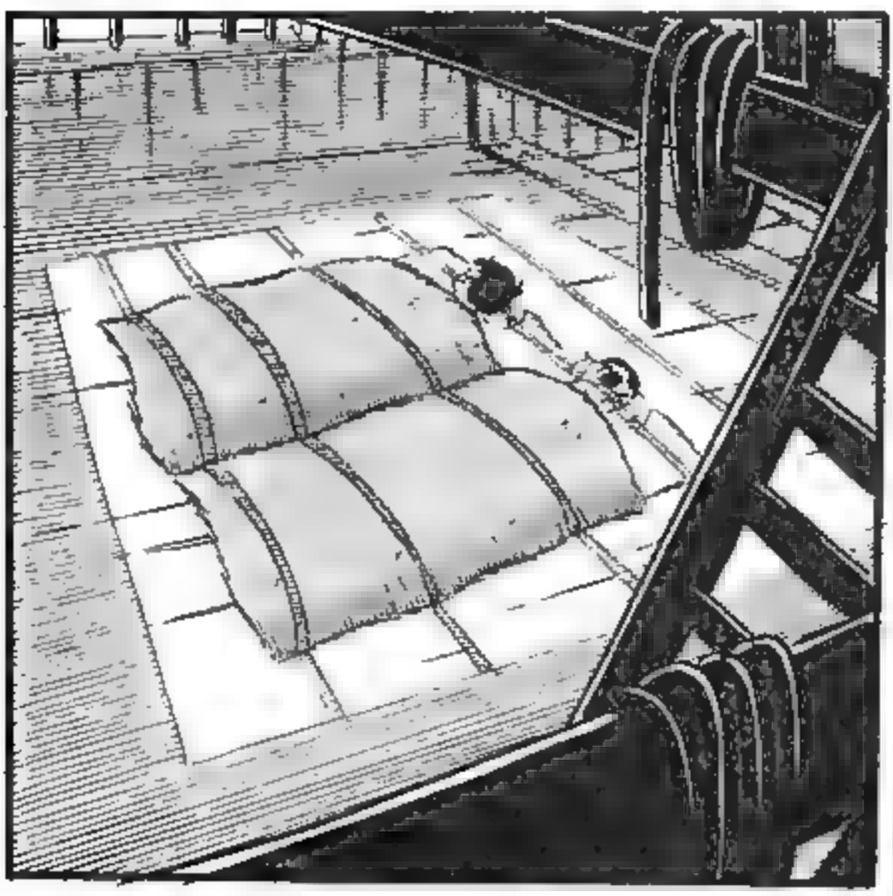
どうした万吉親分……
おん大将が折角いれてくれたお茶だのまんのかね
くそーっとぼけさらしおってからに
いったいおんどれは何者じゃい

おっ
おやぶん!!
はっ
はあはあ
わいは さっき このじいさんの
うしろ姿を見ただけで
いっしゅん 殺される
ような おっそろしさを
感じたんじゃ
あっ……
あれが殺気と
いうやつかも
しれん……
それが
なんじゃい
そんなもんを
毛ほども
感じさせん……
前にも これとにた
ものを ひかり号の中
で 水戸のばばあから
感じた……
片方は……
大金持ち……

なんや
ちゅうねん
あんたらには
いったい
なにがある
ちゅうのんじゃ
片方は
浮浪者……
ふっ
ふふ…
なにも
ありゃあ
せん
おみしゃんに
あるだけじゃ
……
な…
なにいっ
どういう
ことじゃい？
それを感じたん
なら それは
おみしゃんの
影じゃろう
かげ
～～～っ？

ふふ……
おみしゃん
いつでも相手に
たいして競争心
をむきだしに
している
つねに機関銃を
前にかまえている
ような人間じゃ
そんなすがたが
カガミに
うつってみい
……
それは　おそろ
しかろう……
カガミやと……
せんやったら
あんたが　カガミで
わいは　あんたに
うつった自分を
見て　おっとろし
がったちゅうん
のんか…
まあ
そういう
ことよのう…
おみしゃんの
ように　いつも
ギラギラして
おったら
いまに
つかれはてて
ぶったおれて
しまう…
わっ……
わからん
……
わからんが
と……
とに
かく…
ゴゴゴ

あんさんにしろ……水戸のばあちゃんにしろ……
わいなんぞ足もとにもおよばん…



おれはかけるぜ……
この万吉親分のために 命をはってみせるぜ

西海をでてからまだまもないが親分はいろんなことを知ろうとしている……
おれにはよくわからねえが……なにかをやる
ちくしょう
おれっちの一生をかけてもちっともおしかねえや
銀次……まだ おきているか……
へっ…へい
なんですかい……親分……
ガバッ
しばらくここにとどまるであのじいさんのいっていることがわかるまでな……
へいっ!!

ふっ……
ふふふ
閣下……
うれしそうですな
ン……
そう見えるかねははは……
あの小僧
よくばりなやつだ
なんでもかんでも
知りたいらしい
それも理でなく
自分のからだでのう
ふっふふ……
わしの若い時に
ようにとるわい
そうですか……
しかし
ひさしぶりですな
閣下が
そのような
笑顔をみせたのは
おいおい
その閣下というのは
やめてくれんか
はっ……はあ
どうも……

わしはすでに二十四年前に死んだ男だ
日本があの太平洋戦争に負けたことによって…古い着物をぬぎすてたようにな…もう今の時代にはいらん人間じゃ
これからはあの万吉のような若い連中の時代だで……
わしらのような古い人間は安心してひっこんでおればよい…
万吉め……あすはいいところへあんないしてやるか
しかしついてきおるかどうか……ふっふふふ…

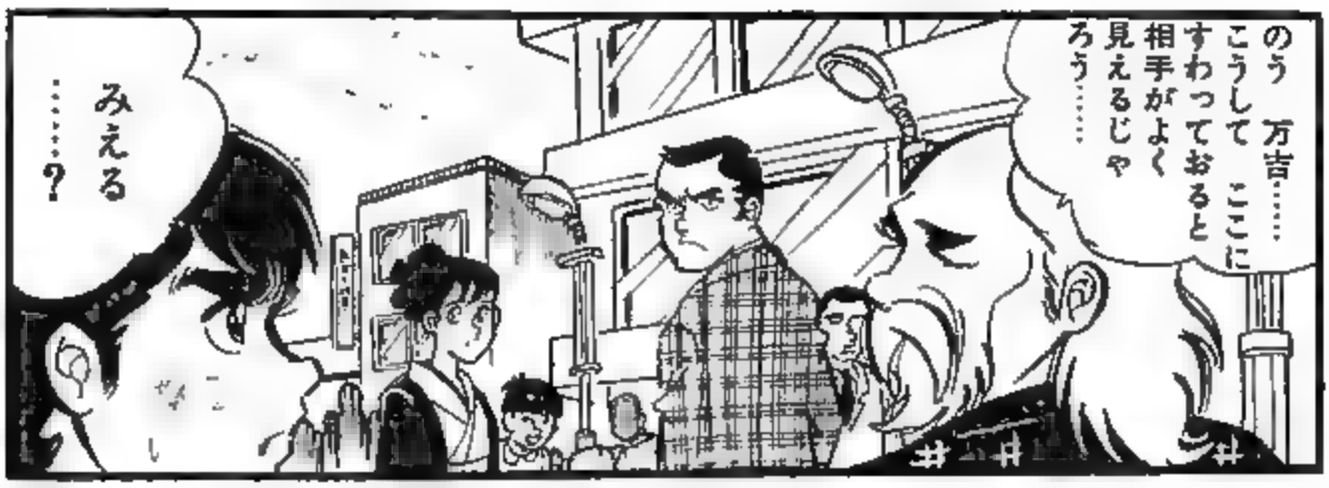
M
プロ
八百丸

おい 万吉
もそっと
浮浪者らしい
顔を
せんかい……
おあり
がとう
ございます

うっ
ふふ
とっとき
たまえ
くれてやる
わい……
じゃかましい
どうせ 金を
めぐむんやったら
もっと気持ちよく
よこしたらどうじゃい
なっ
なに〜〜っ
うっ
どうも
ありがとう
ございます

ケッ
なまいきな
浮浪者……
くっ
くそ～っ
いやだ　いやだ
もう
いやだぜ!!
こんなところに
すわっとるのは
まっぴらごめん
じゃ……
みてみい
この前を
とおる連中
の目つきを
!!
ばかにしくさった
あの目
悪党を
みている
ような
目つきを
おん大将は
あれを感じんのか
わいはもういやじゃ
あたり
まえの
ことじゃ……

わしらは浮浪者をやっておるのじゃ
だからその浮浪者なんかいやだといってるんじゃい!!
こんなにばかにされてまでやってられるか
かえるぞ銀次……
そういうわけにはいかんぞ……
男の約束がある……
うっ
おみしゃん今日一日わしといっしょに浮浪者をやると約束したはずじゃ
くっ……
くそーっ
そうじゃそれでいいそれでいい


のう　万吉……
こうして　ここに
すわっておると
相手がよく
見えるじゃ
ろう……
みえる
……？

おありがと
うござい……
こうして一段
下から上を
見ると…
れいせいな目を
持って見れる
ものじゃ……

人間だれでも
上にたちたい
しかし
ボリ
ボリ
ほんとうに
上にたてる
人間は…
下のことを
知っている
人物じゃ

下の精神を知らん
人間が
上にたったら
盲目になる
しかしだ……万吉
なにかやる時は
他人の目を
いっさい気に
するな……
そんなことを
気にする人間
では
大業は
ならん！

おありがとうございました!!
ガヤ!
ガヤ!

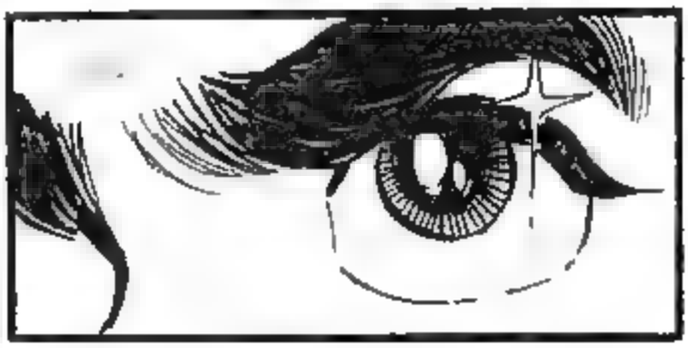
はっはは……
どうじゃったね
きょう一日の
浮浪者生活は
……
へい……

浮浪者　浮浪者って
もう　バカにできねえ
気がしてきましたぜ

浮浪者は
あかん!!
浮浪者は
やっぱり
カスじゃ
おっ……
おやぶん
……

あっ……
あかん……
へっ……

わいは
日本一の
大金持ちに…
なったる！



おっ…
おやぶん

おん大将
わいは きょう
一日 最高の
勉強をさせて
もろた
いままで
みえん
かったものが
みえるように
なった気がする

わっ……わいは
浮浪者にはならん
しかし 他人への
みえをすてた
浮浪者の精神を
わすれず……
ほんものの……
日本一の
大金持ちに
なったる！
そうか……
きょう一日で
それが
わかったか
……
はいっ
!!
それだったら
おみしゃんは
もうここにおる
必要はない
すぐに
東京へ
いけいっ
おおっ

みなさん
ありがとうよ
長い間　ほんまに
せわになったでえ

万吉はん
がんばり
なされよ
東京ということろは
すばらしいが　反対に
おっそろしいところ
だからのう……

からだに
だけは
気をつけて
のう

ふふ……

あの万吉にとって
のちのち…わしが
必要になって
くるじゃろう
光五郎
おみしゃんものう

その時は
全力をつくして
万吉に力を
かしてやれい
!!
はっ!!

少年ジャンプ

さすがじゃ
さすが
日本第一の都市
大東京
じゃい

M·M·C

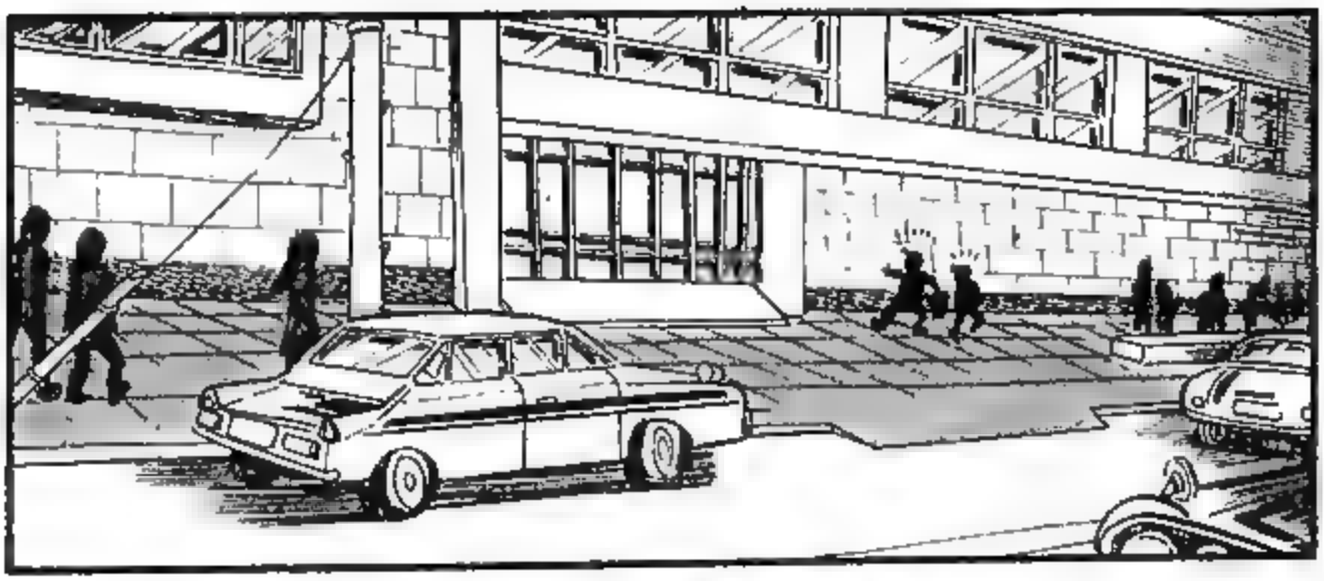
やるでえっ
わいは
やったる
でえ
おおさ 親分
およばずながら
おれっちも
力をかすぜ

万吉と
全学連の巻
たびたびの
ご迷惑でおそれ
いります
ただいま　お茶の水駅
近辺において
全学連学生と
機動隊がしょうとつ
いたしております

そのため中央線は
ただいま運行
中止になって
おりますので……
まことに
おそれいりますが
新宿　中野　立川
方面ご利用の方は
……

地下鉄で
ふりかえ輸送
いたして
おります……
なにとぞ
そちらを　ご利用
くださるよう
お願いします

ちっ…
またか
……
ふざけ
やがって
え～～っ
親分
どう
します……
どう
する
って……
なんや知らんが
じゃまくさい
歩って
いこうや……
中央
ええっ
またですか
!!
大同銀行
K
ABCプロクシス
SUMITOMO
住友信託銀行



親分…友子ちゃんちってどこなんスか

ええ～～～と
ああっ……

そうや…中野や
ええっ!!

なんや…道がちがうんか…
いっ…いやこれでいいんですけどね……

しかしうちの親分歩くの好きだなあ
自衛隊だってこんなに歩かねえよ…きっと

オヤビンこんなにゆっくりいっていいんですか……
なにが……
なにがってこの～～っニタニタしちゃってもう……
ドーン
へっ……
なんじゃいどうしたんじゃい……
イッヒヒヒとぼけなくたっていいでやんしょわかってんですよ…
いっこくも早くあいたいくせにむりしちゃってまあこの～～っ
なっ…なに～～っ
あっ赤くなった赤くなった
親分でも赤くなる時があるんですかいへ～～～っ

やいこら…おんどれなんぞ感ちがいしとるのんとちゃうか
えっいやべつに……
ところでちゃんといく時間知らせたんですか……
むかえにこなかったけど……
あっ…ああいきなりいってびっくりさせてやろうと思ってな
まだ知らせてへんのや……

ざまあみろ
本音をはきやがった
はっ……
おんどれ〜〜〜っ
三流銀行 神田支店
あっ
はは はは はは

ねえ親分…
なんじゃい
おれっち まだ友子ちゃんにあったことねえんですけど
どんな子ですか……
そう そうや おまえ目元ぱっちりでやなかみの毛サラリでやな
くっ…とにかくかわいいんじゃ…ああ…
ケッケケケ……

きゃあ!!
ママママーッ
きてちょっときて!!
まあ…友子はまた 万吉さんの部屋へはいって…だめじゃないの

ここは万吉さんが 使う部屋でしょ……
それより あれをみて！
どうしたのいったい…
まっ
まあ
ねっ…ね 万吉さんでしょこれ……
えっ……ええどうしたのかしらこれは…
そっそれにここはこれから……
交通はストップしました……まもなくこちらへむかって……
進んでくるものと予想されます……

うわーっ
ガバッ
カッパ・ボサ・ハネワリみんな!!
えらいこっちゃえらいこっちゃでみんな!!
どっ……どうしたんでっか…
ラッパちゃん

テレビや
テレビ
!!
うわあ
あーっ
!!
親分じゃ
わいらの
万吉親分が
テレビに
でとるんじゃ
わーっ
ほんまや
ほんまやで
テレビにでるなんて
えらい出世しより
ましたなあ
もう……
わいら子分一同
うれしいて
うれしいて
ちくしょう!
ばんざーい
万吉親分
ばんざーい
わいらの
万吉親分
ばんざーい!!

2
JBK-TV
JBK-TV
なんだあいつら
学生側の
偵察
か…？
さあ…
それは
そうと銀次
ここだけは
ばかに
しずかや
のう……
えっ…？
車一台
とおって
へんや
ないけ
へい

そのくせ…

はは…

へっ…へへ
はじまるぜ
おい…
まったく
ここは特等席
だぜ…

人間ばっかり
へんな
ところから
のぞいとる
で…
なんや
おかしい
ムードやなあ
三井銀行
神田支店
大川物産

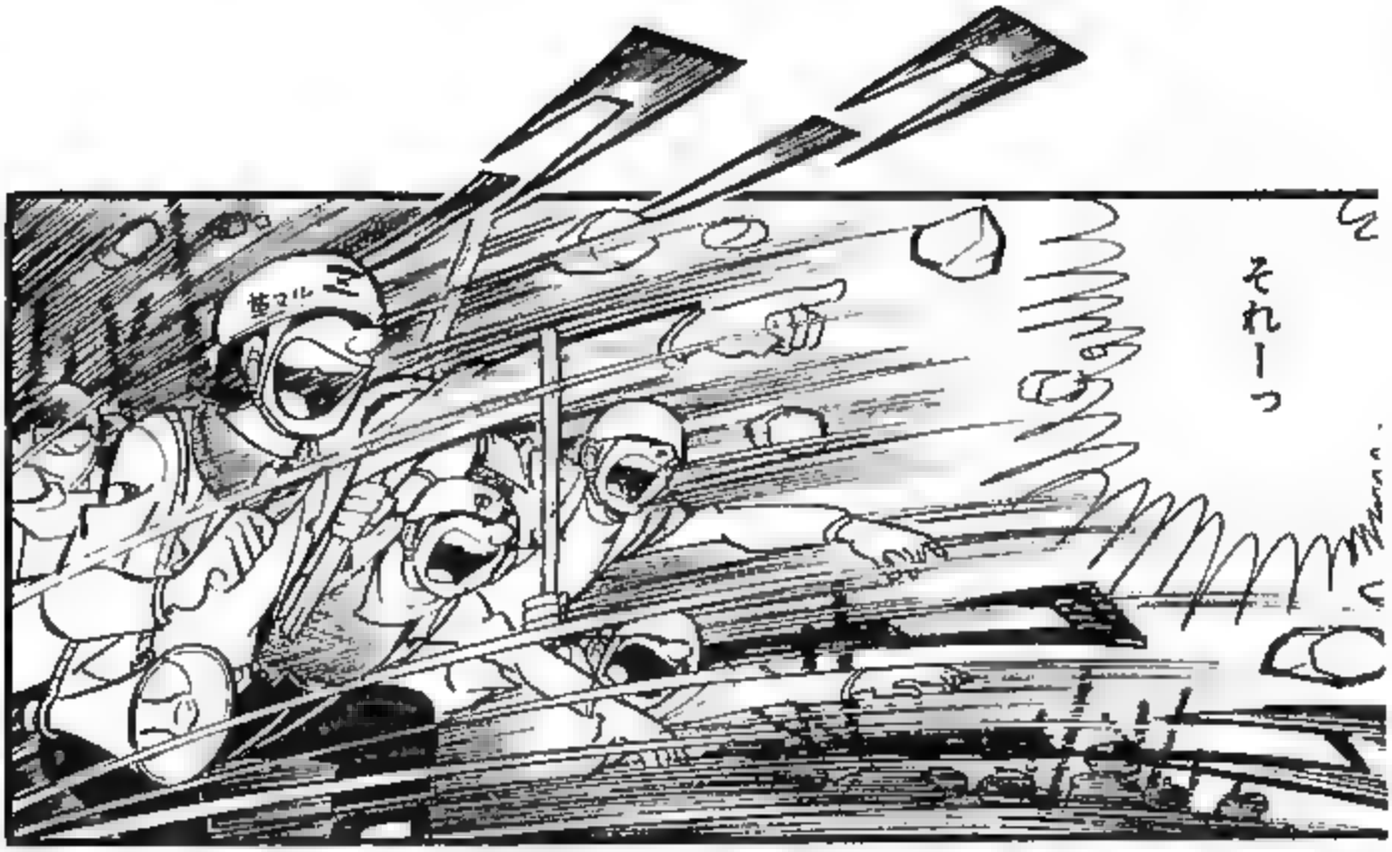
おっ…
きたきた
ーっ

わっしょい
わっしょい
!!
ン……
われわれは
だんこ
70年安保を
ふんさいする
!!
なんでも反対
われわれは
だんこ
70年安保を
ふんさい
する!!
そのため
命をすてる
も辞さない
そのため
命をすてる
も辞さない
国家権力の
番犬に
まけるな!!
国家権力の
番犬に
まけるな!!

はっ
日本を戦争にまきこむ70年安保反対!!
だんこたたきつぶせえっ
革マル
社学同
中革

むだな
ていこうは
やめよ
ただちに
解散せえっ
!!
うる
さい!
さもなく
ば
全員
たいほ
する!!

革マル
だまれっ
番犬
われわれは
戦うのみ
そうだ
やれ
やれーっ


それーっ
菅マル三

うわーっ
けんかだ
けんかじゃど
これは……
親分
おれたちは
いまどまん
中ですぜ！

ようし
応戦
しろっ
おおっ
!!
ボコッ

しかし 東京は
けんかまで
はでじゃのう
のんきなこと
いってねえで
はやくにげなきゃ
殺されちまうぜ
親分

てえいっ
!!

わーっ
うわっ！
ひるむなーっ

おおっ
やった
ちくしょう……
いいかげんにしろ
なんだと思って
やがるんだ
これは
これは……
これは　わしが
二十年も
かかってやっと
もてたんだ…
わしの
店なんだぞ
これは
とめたる……
えっ

この青げつのガキどもめ!!
おとなしくミルクでものんでろっ!!
だまれ上から命令されるだけで…
無思想な番犬めえ!!
とめたる!! わいがこのけんかをとめたる!!
ええっ!!
そんな無茶な!!
無茶なのはあいつじゃ

ガッ
くっ…
くそーっ
けんかやったらもっと広いところでやればいいんじゃ!!
けんかをやって他人のめいわくをかけるなんぞ下の下じゃい
ぜったいにとめたる!!
親分!!
しょうがねえなまったくもう……
ほっといたらなにをやりだすかわかりゃしねえ!!

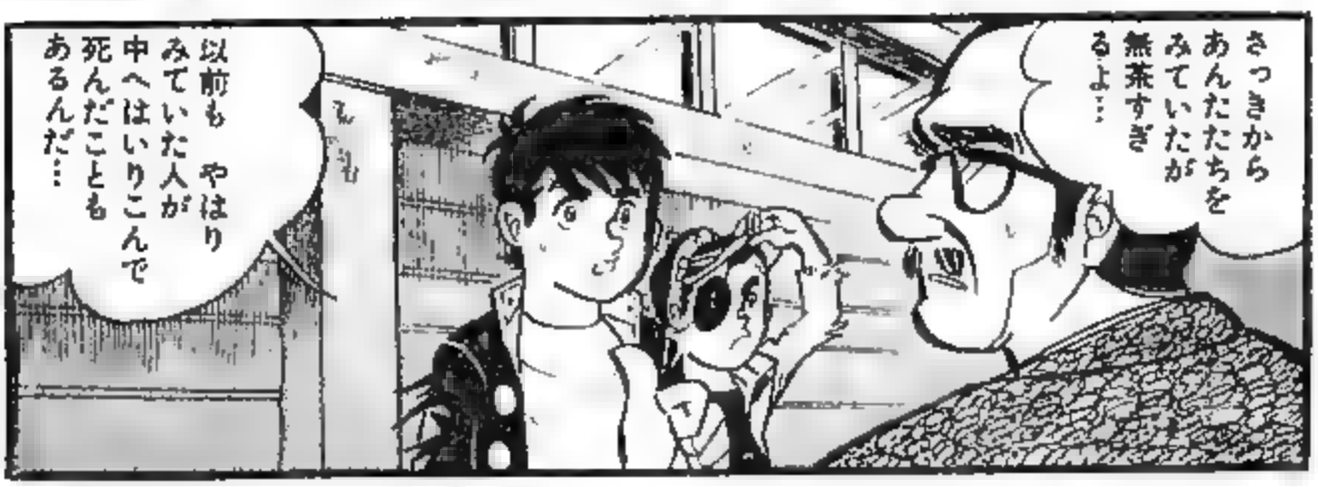
ぎゃはは
おもしれえ
やれやれ

タフな連中だぜ
こいつら…
はっはは
ははは…
ただで
こんなもんが
みられるなんて
最高だわさ
あっはははは

親分…
だからいったじゃねえか……
むりだぜこれは……

くそ〜〜っ

あんたたち……
ン……


さっきからあんたたちをみていたが無茶すぎるよ…
以前も やはりみていた人が中へはいりこんで死んだこともあるんだ…

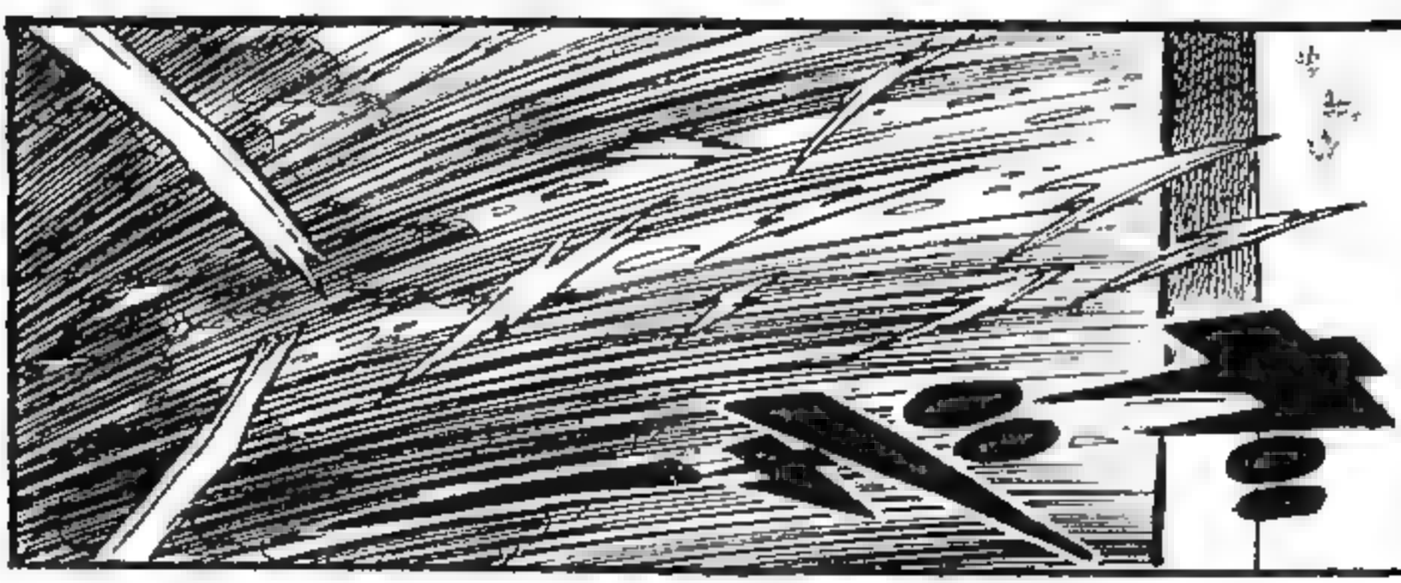
そんなこと
いったって…
このけんかは
迷惑なん
やろ
それとも
べつになにも
感じへんのか…
感じないどころか
わしも銃砲店を
経営しておるが…
めちゃめちゃだ…
機動隊でも全学
連でもいい殺し
てやりたい
くらいだよ
しかし
わしらには
どうすることも
あんた
たしか
銃砲店とか
いったな…
あ…
ああ…
だったら
ダイナ
マイトの二
三本
ぐらい
おいて
あるやろう!!

ママ…早くいかないとなにもわからない万吉さんが……
えっ ええ…
安田さん 早くおねがい

しかしねえおじょうさんこう詰ってたんじゃ…
むりですよこいつは…

親分へい…
しっしらんぞ
わしゃあしらんぞあんた!!
いいからだまってみとれいっ!!

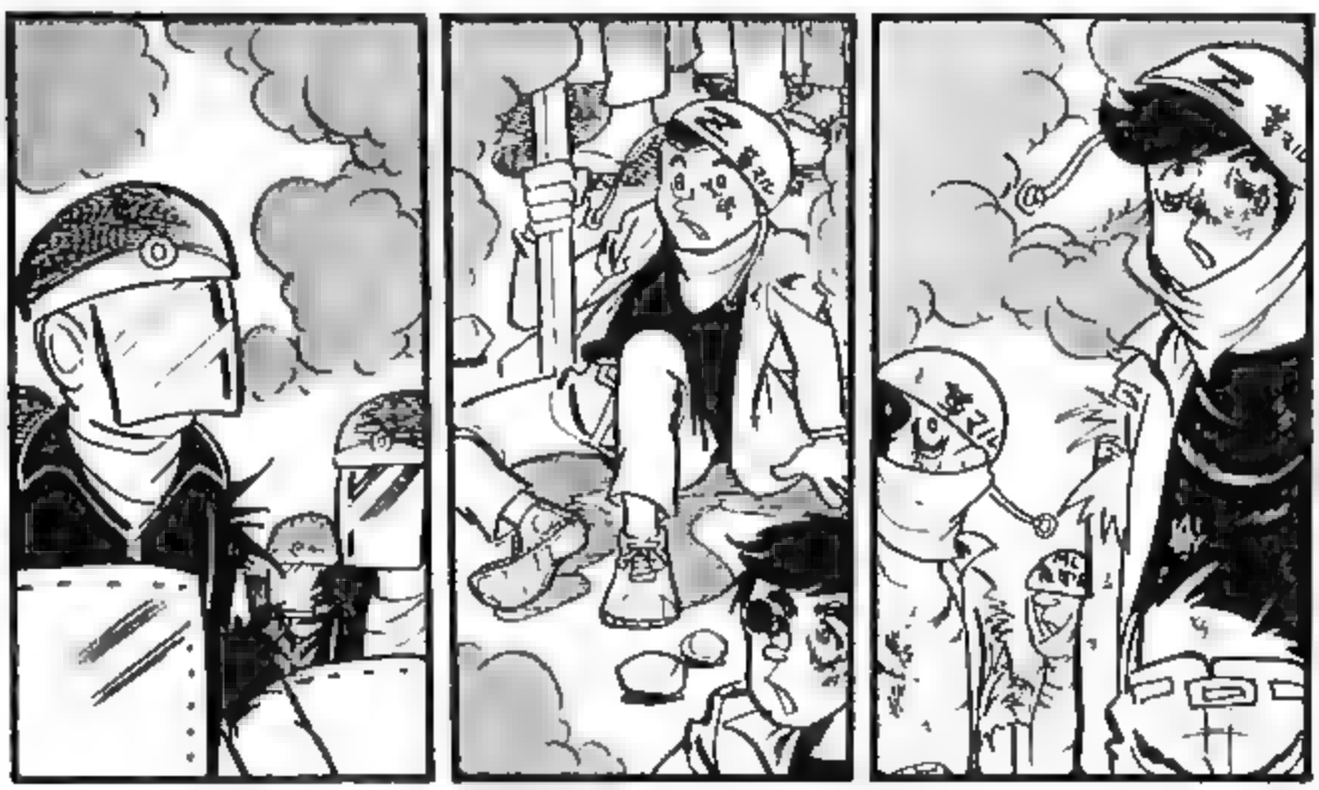
やめろ
やめろ
このダイナマイトがみえんのか!!
ちっ
ドゴ
うっ
くそっ
たれーっ!!
くそーっ



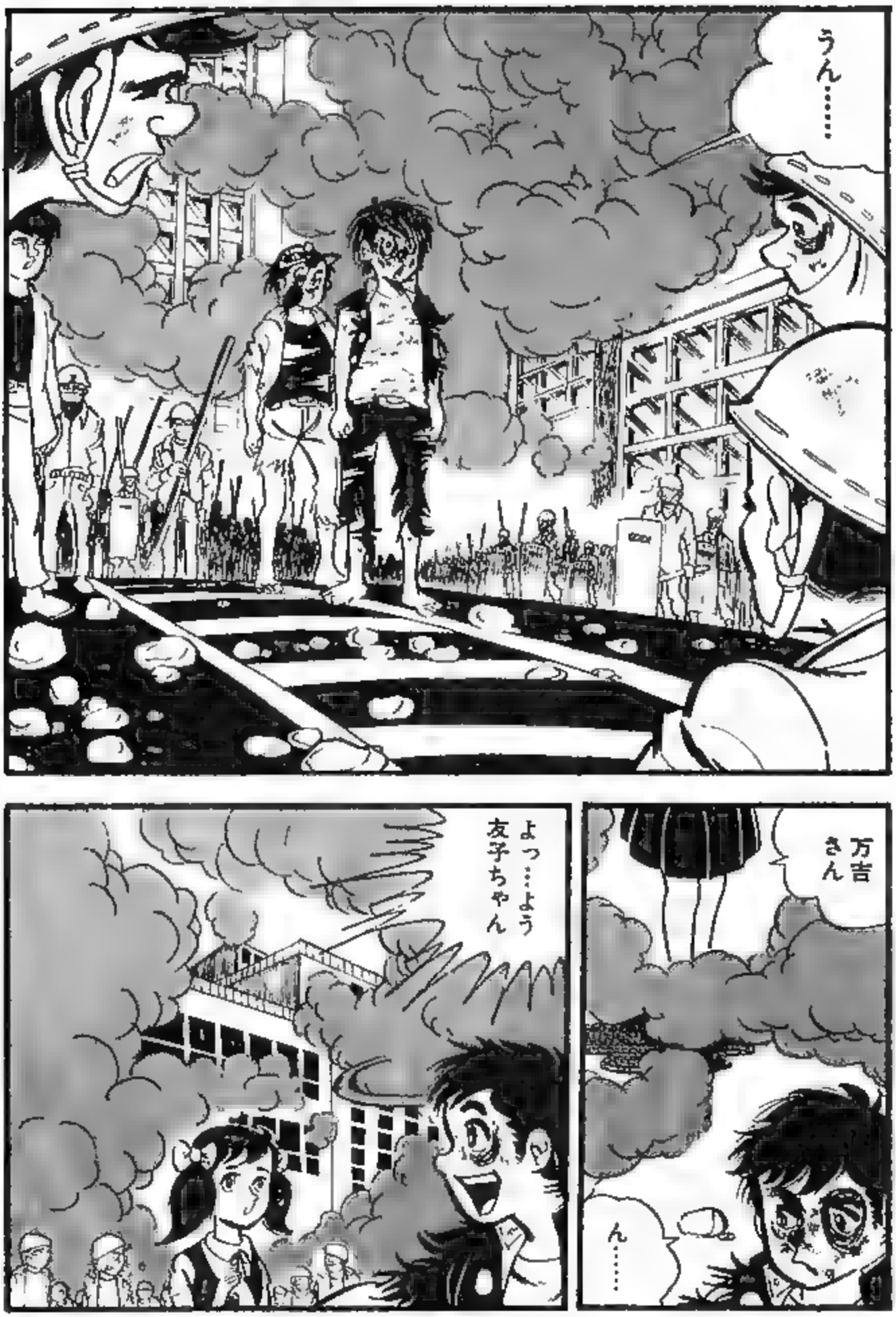
のっとり屋
水戸のおばばの巻

きゃあ〜〜っ
なっ……なにごとかしら……
ちょっとちょっとちょっと

な……
なにごとだ……
いったいなにがおこったんだ……

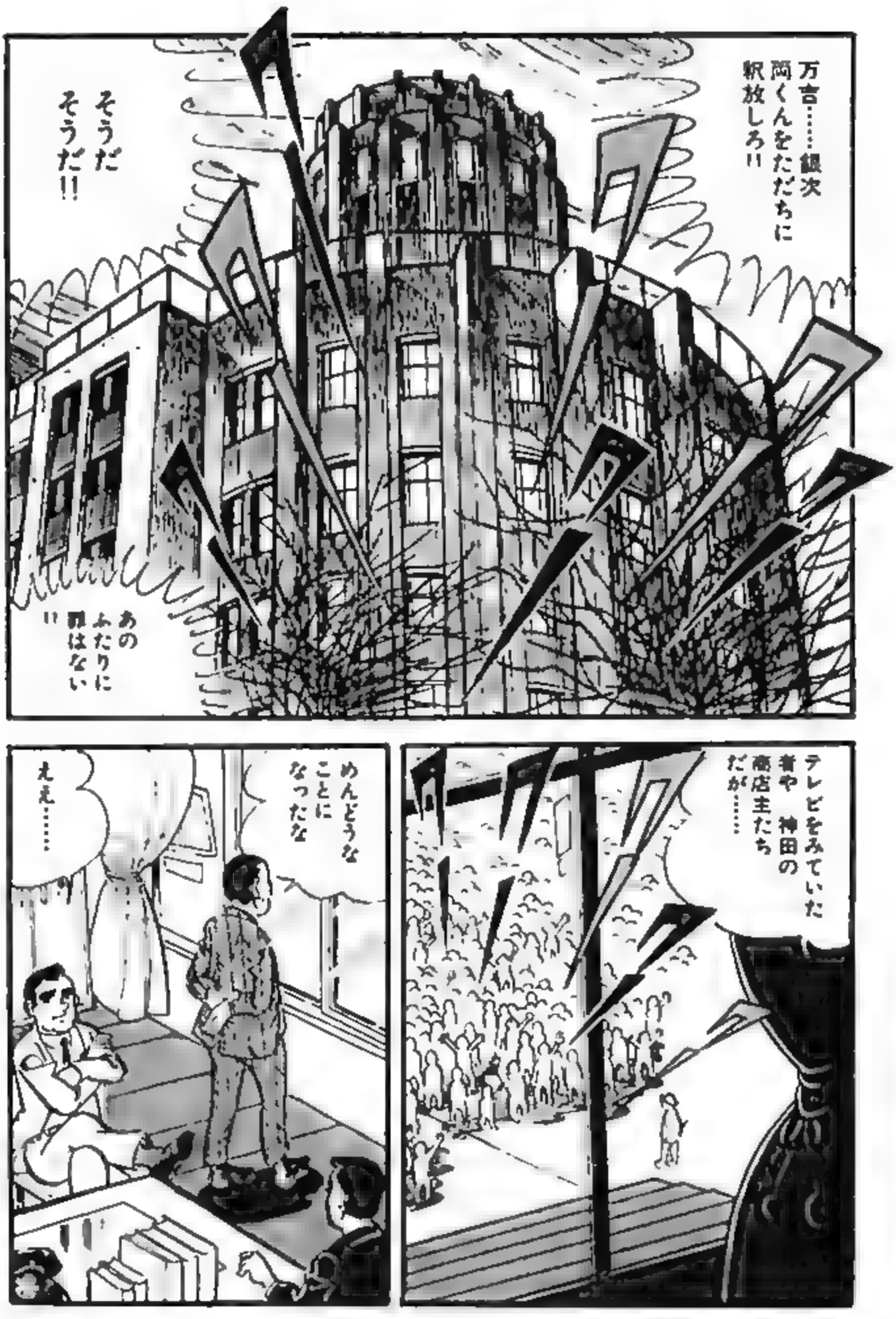


けんかをやるんやったら……
もっと広いところで
やったら……
ええのんじゃ……


うん……
万吉さん
ん……
よっ…ようす友子ちゃん

あれ……ヘアスタイルかえたんか……？
万吉さん……
わ～～～ん!!
へ……
うわあっ!!
やったやったぁ～っ
なんやしらんが万吉親分がテレビですごいことやりはったでさすがじゃさすが万吉親分じゃいぎゃははは

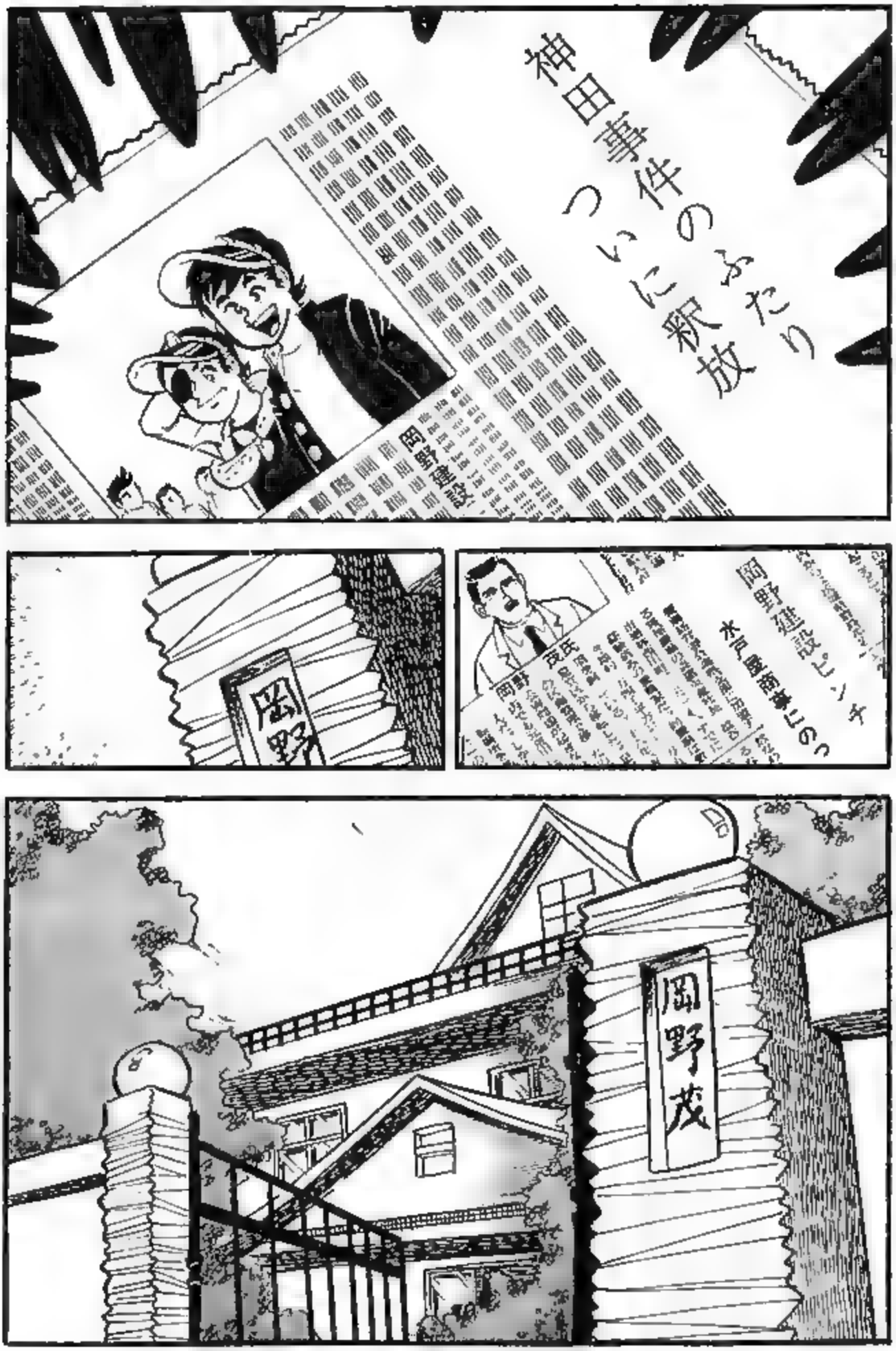
神田事件のふたり
世論これに反発
釈放を求める
神田事件のふたり
毎日新聞
奇跡!?怪我人わずか三名!!
岡野良社長
岡野建設のうらぐち
全学連と機動隊に
とんだハプニング
ダイナマイト、発
江三氏宅へ
神田の電話を
かけつけ


万吉……銀次
岡くんをただちに
釈放しろ!!
そうだ
そうだ!!
あの
ふたりに
罪はない
!!
テレビをみていた
者や 神田の
商店主たち
だが……
めんどうな
ことに
なったな
ええ……

しかし 純粋なんだな あのふたり
あれをほんとにけんかと思ってたんですからね
わたしだってデカじゃなかったら胸がスーッとしたでしょうね
ふふ
おいおい……
はっいや……どうも
しかし さっき身元がわかったときにはびっくりしたぜ
あれが戸川万吉くんだとはな……
それじゃ前にもなにか……
ああ……脱獄囚三人をひとりでとっつかまえたことがある……
ほ～っそれは…しかも……
表彰しようとしたら……
当ぜんのことをしただけだといってうけとらなかったそうだよ……
こんどもそう思ったんだ……

それに へたに 手をだすと またきわがれるよ……マスコミにな……
署長……
はあ…
まあ……かすり傷の二三人でただけだし……
いいじゃないか……

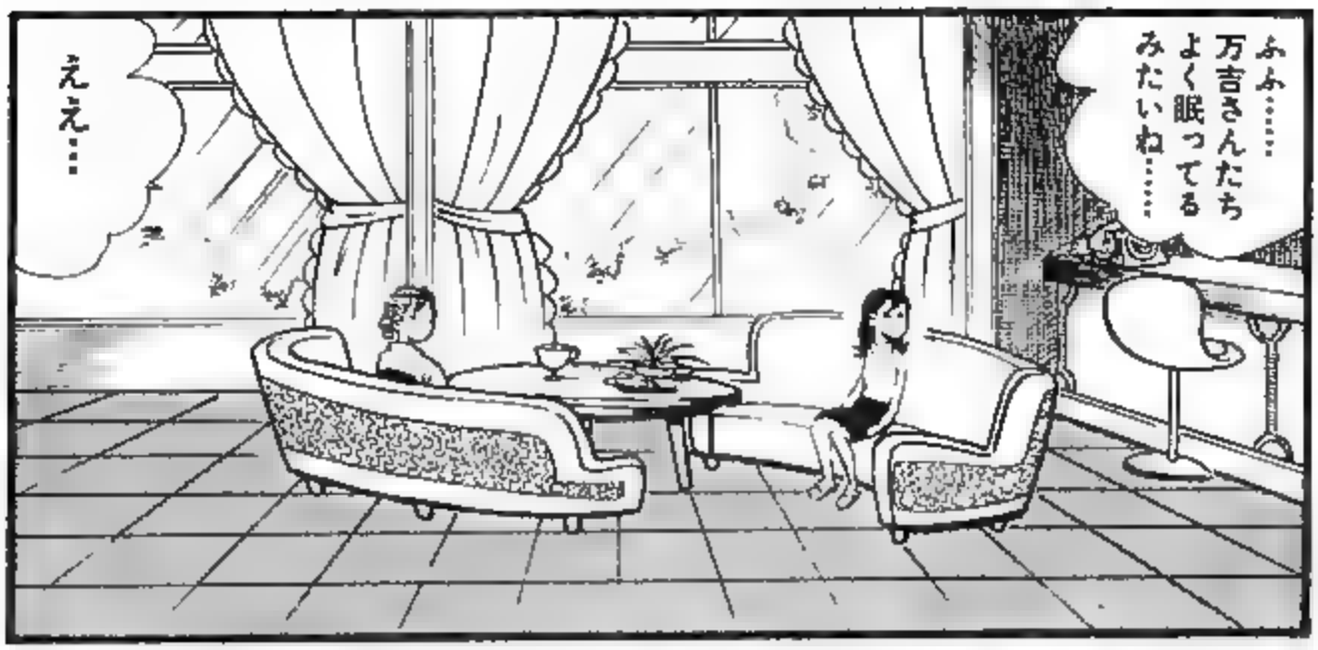
テレビを
みてたぞ
よく
やった
よく
やった
!!
あんたは
われわれの
代弁者だっ
ぎっ…銀次
どういうわけ
じゃ これは
……
さっ…さあ
おれっちにも
さっぱり
う!!
……


神田事件のふたり
ついに釈放
岡野建設
岡野
岡野茂
氏
岡野建設ふくめ
水風呂極楽ぶり

ケーへへへ…
うふふ……
なんかこうはでになるとは思わんかったで～っ
はずかし～いっ
うふふふふ……
でも 無茶よ万吉さん……たいへんなことにならなかったからよかったけど……
おねがいもう二度とあんなあぶないことしないでね……
あっ…ああわかっとるわいもちびっとまずかったかいなあ思っとるんじゃ！
なあ銀次…
えへへへ…

それは…そうとおじさんみえへんけどどないしたんや……
そうだ　おれっちまだ　あいさつしてねえもんな！
えっ
ええ
それが……会社のほうがたいへんらしくていつも　帰りがおそいんですよ…
ごめんなさいね…
いやあ…社長さんにもならはったらいそがしいのはあたりまえのこっちゃ……
でも　きょうは万吉さんたちの歓迎パーティするんですもの！
きっと早く　帰ってくるわよ　ね　ママ…
そうね……

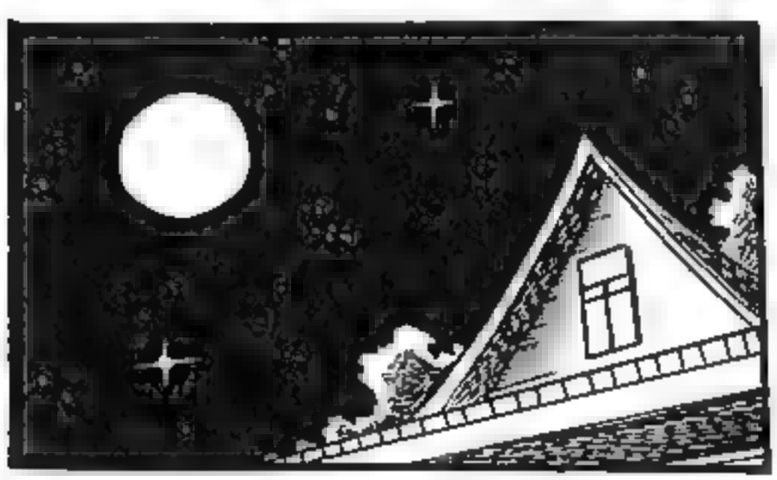
岡野

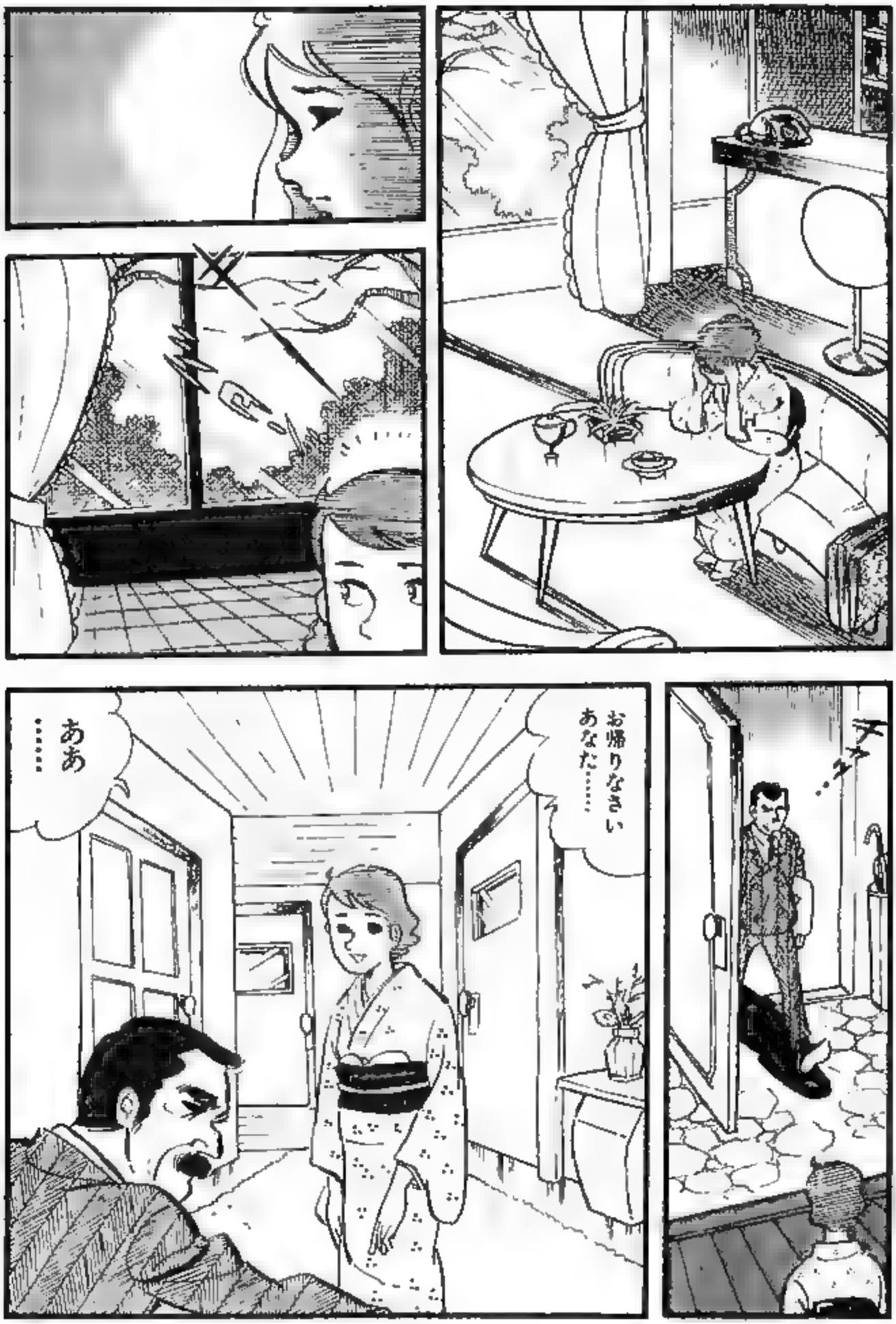

ふふ……
万吉さんたち
よく眠ってる
みたいね……
ええ…

でも ババったら
ひどいわ あれほど
約束したのに

そんなこと
いうんじゃ
ありません
お仕事なんです
から……

それより
あした 学校が
あるんでしょう
早く 寝な
さい……
はい…
はい…




お帰りなさいあなた……
ああ……

万吉くんたちはもうねたのか…
ええ……さきほど
友子がおこってましたわ
そうか……
どうなんですか
会社のほうは……
おまえが心配するひつようはない……

第一中学校

ねえねえ　戸川くん
これからボーリング にいこうぜ
だめよ
わたしたちと
スケートへいくのよ
ねえ　万吉さん
なにを
いってるんだ
ぼくたちと
サッカーを
やるんだ

だれ……
あの人……

なんだ あんた
しらないの
この前　ほら……
全学連と機動隊の
乱闘をとめた人よ

ええっ
あの戸川万吉が
わたしたちの
学校に!!
そう
転校して
きたの……
きゃあ
すてき!!
いがいに
ハンサム
じゃない
ふへへ…
ふふ……
万吉さんたち
転校そうそう
すごい人気ね…
ケッ……
テレクサイ
だけじゃ……
ちょっぴり
やけちゃう
わ……
へっ……

万吉さんを
ほかの女の子に
とられたく
ないもん
ガタッ
ガタッ
うわきしちゃ
いや！
きょうれつ
!!
あっはは

ワーッ!!
ママ!!

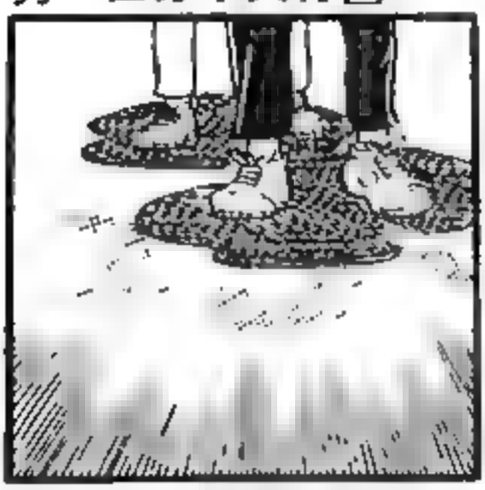
友子！
どっ……どうしたのママ……
お仲え
ただいま
わかってると思いますが……
いっさい手をふれないでください
それじゃ岡野さん二、三日中に競売がはじまりますから
それまでには…ここをたちのいていただきますから……

パパ!!
すまん 友子…
バタン
おとうさんは…おとうさんはな
一円もなくなってしまったよ……
しかし 万吉くん わしは たとえどんなことをしてでも きみの世話だけはさせてもらうよ……
パパ……

なっ……
なんや……
いったい
なにが
あったちゅう
のんじゃい!!
ドン!!
わしが二十年かかって
作りあげた会社を
……
岡野建設
を……
のっとられ
たんだよ……
のっとり
!!
親分
どこかで
きいたことが

のっとり
のっとり
のっとり
のっとり
のっとり……
水戸のばばあ……
……
しっているのかね水戸の会長を……
ええ
それじゃあいてはあの水戸のばばあでっか!!

あっ…ああ…
まさか…
まさかあんな
大物がわしの
会社を
ねらっていた
とは……
気がついた
ときには
もう
おそかったん
だよ
40パーセント
以上も
株を
買しめられて
いた……
わしは
ひっしになって
対抗した
この家も車も
なにもかも借金
の抵当に
いれてな…
しかし…
けっきょく
負けてしまった
んだよ
パパ
～～～っ
すまん……
すまんことを
したな
友子……



ここですぜ……

あの……ばばあ……

株式会社
ボロ屋商事

40パーセント
買いしめだの
のっとりだのと
よくわからんが
……
他人の物を
横どりする
なんざあ
かんべんでけへん…
いくで
銀次…
へい！
むだ
だよ……
ン……
!?
あっ……
あんたは
……
ふふふ……
ひさしぶり
だな
万吉親分

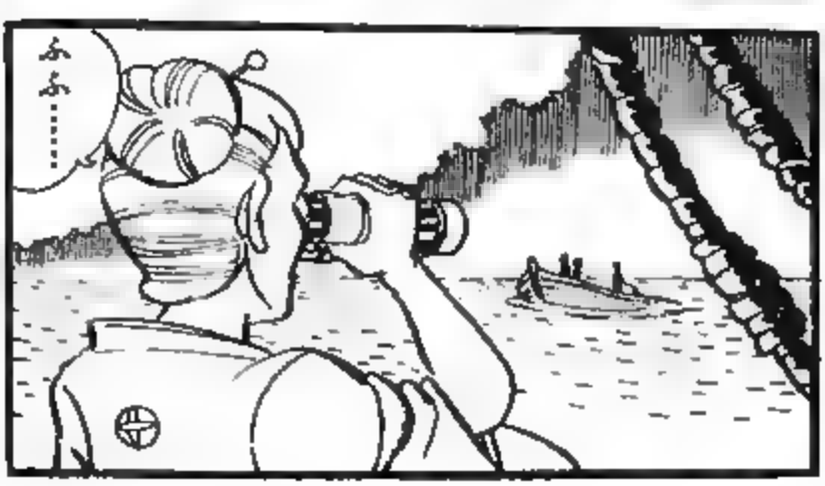
万吉開眼の巻

ふふ……
ひさしぶりだな
万吉親分

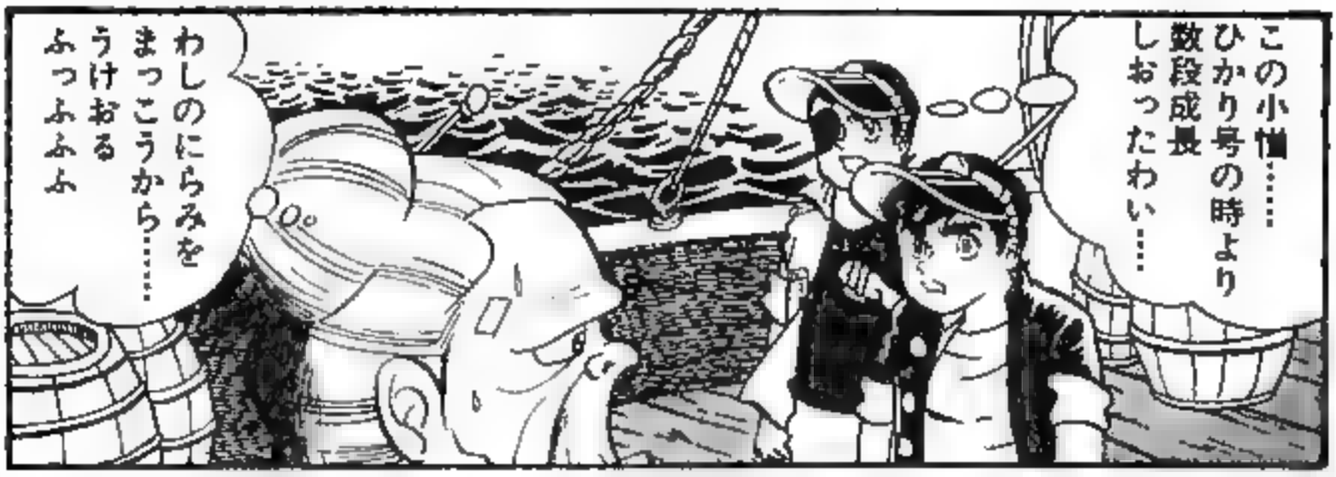
なんじゃい
なんで
あんさんが
こんなところに
おるんじゃ
おん大将の
命令だ
わしの希望でも
あるがな……

それより　水戸の
ばあさんにあうん
なら　むだだぜ
あったところで
どうにも
ならんぞ
それに　ここには
おらん！

きおったな
ガキ大将め……


ふふ……

でてこい
ばばあ!!
ふふ……
こんな
ところまで
あいにくるとは
よほど大切な用と
みえるのう　万吉
とぼけ
さらすな
わいが
なんの用で
きたか
わかっとる
はずじゃ!!
ふふふ……
あいかわらず
いせいがよい
のう……
おぬし
ケッ…
この横どり
ばばあめ
……

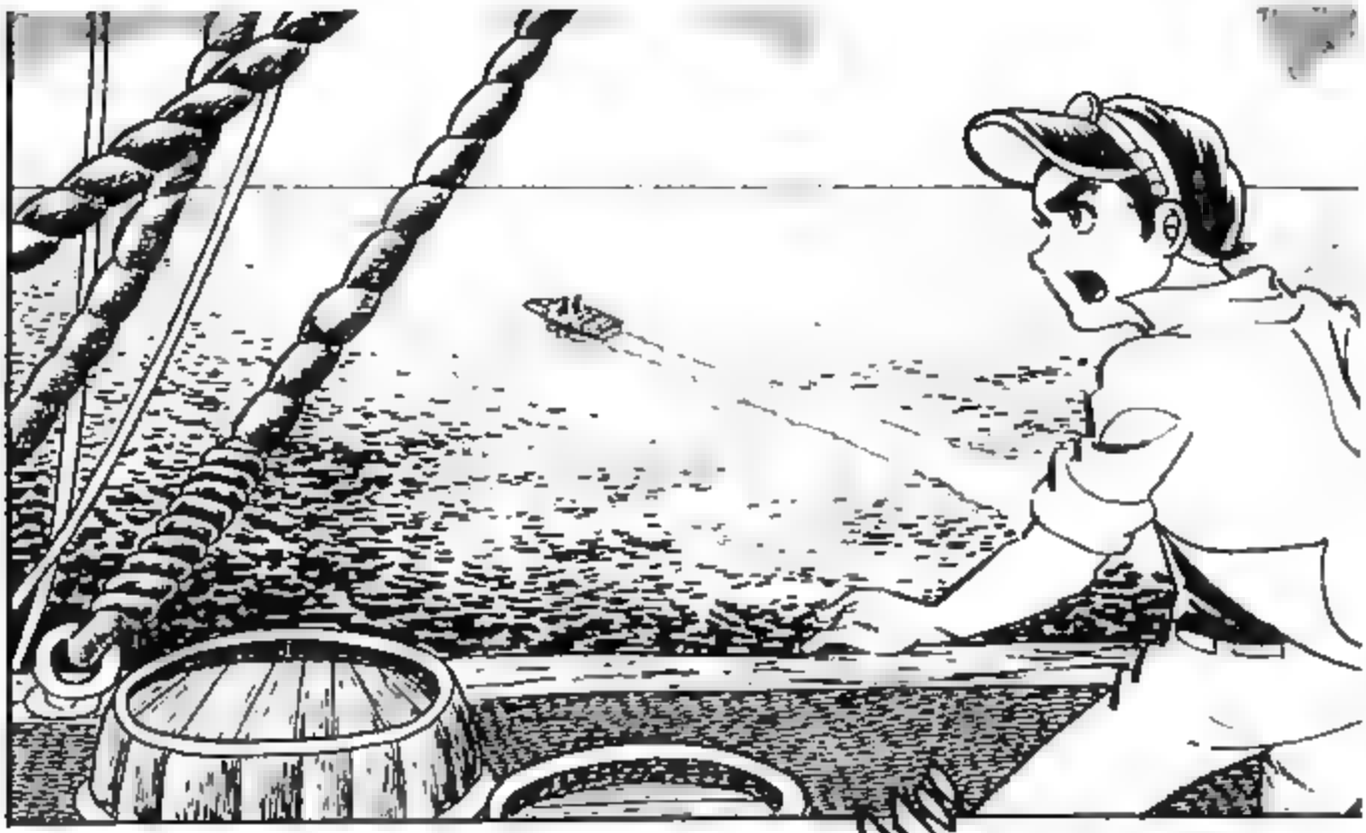

この小憎……
ひかり号の時より
数段成長
しおったわい……
わしのにらみを
まっこうから……
うけおる
ふっふふふ

きょうは
とっぷり文句を
いいにきたんや
……

ほ～～～
それは
たのもしい
ことだ……
わしも
おぬしに
ちいっと
話があってのう

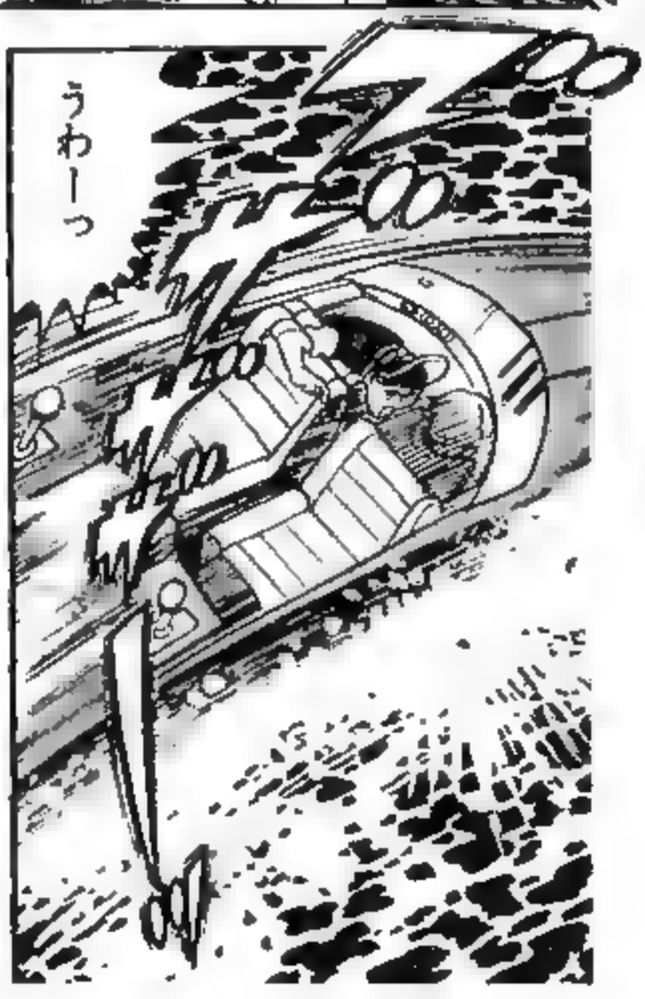
おい…だれか
ボートを用意
せえ……
おっ

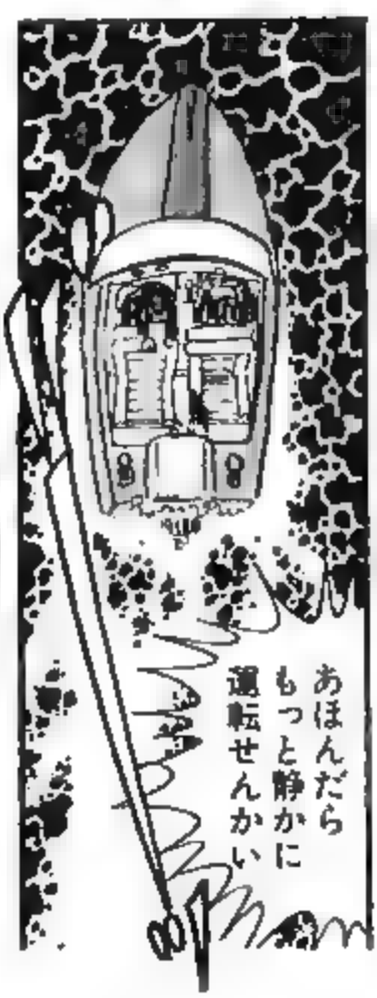
どうじゃ 万吉
たいしたもん
じゃろう……
三百年前の
やつを
近代的に
改造した
わしのじまん
のヨット
じゃ



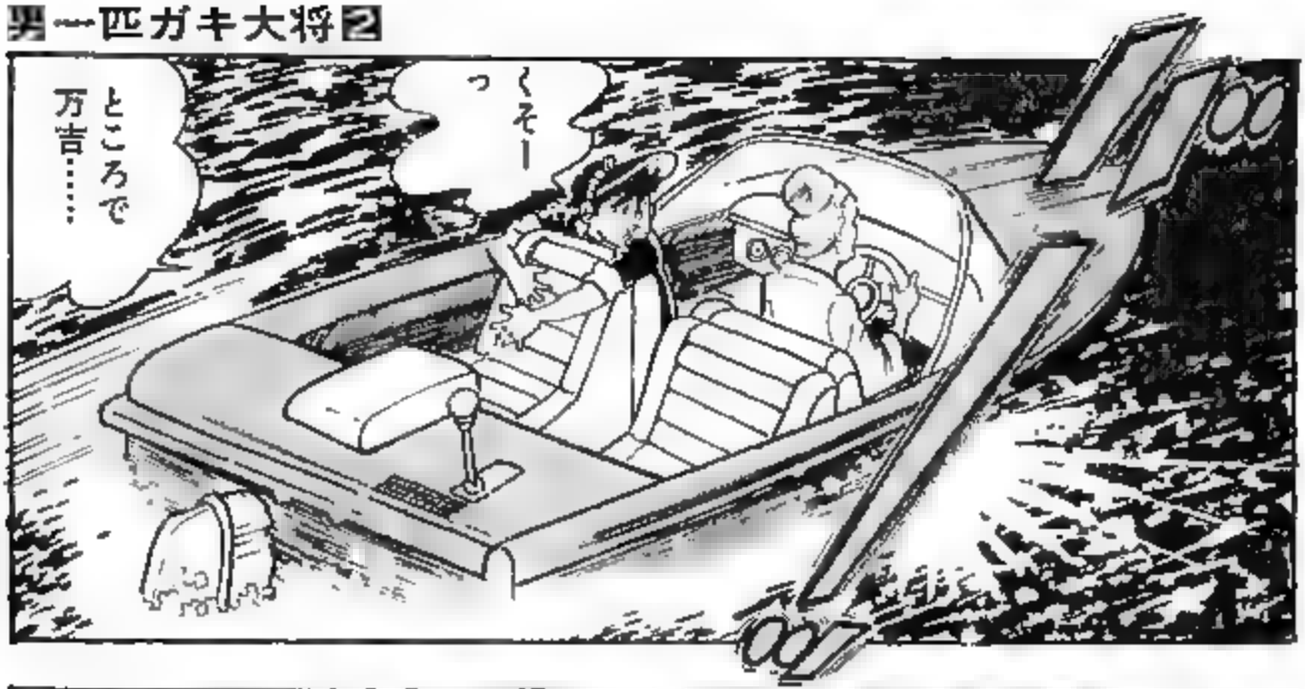
しかし万吉
神田では
はでなこと
をしよった
のう……
おぬしの
ばかさかげん
今やしらぬ者は
おるまい

じゃか
ましい!!
話をはぐら
かすな!!


うわーっ


あほんだら
もっと静かに
運転せんかい

うわあっは
ははは
しっかり
つかまっとらんと
ふきとばされるぞ


くそーっ
ところで万吉……

おぬし わしの養子になる気はないか…

なっ…
なんじゃと!?

わしの養子になったらあんなヨットでも車でもすきな物をかってやる……
そして わしが持っている十四いや十五の会社をすべてまかせよう……

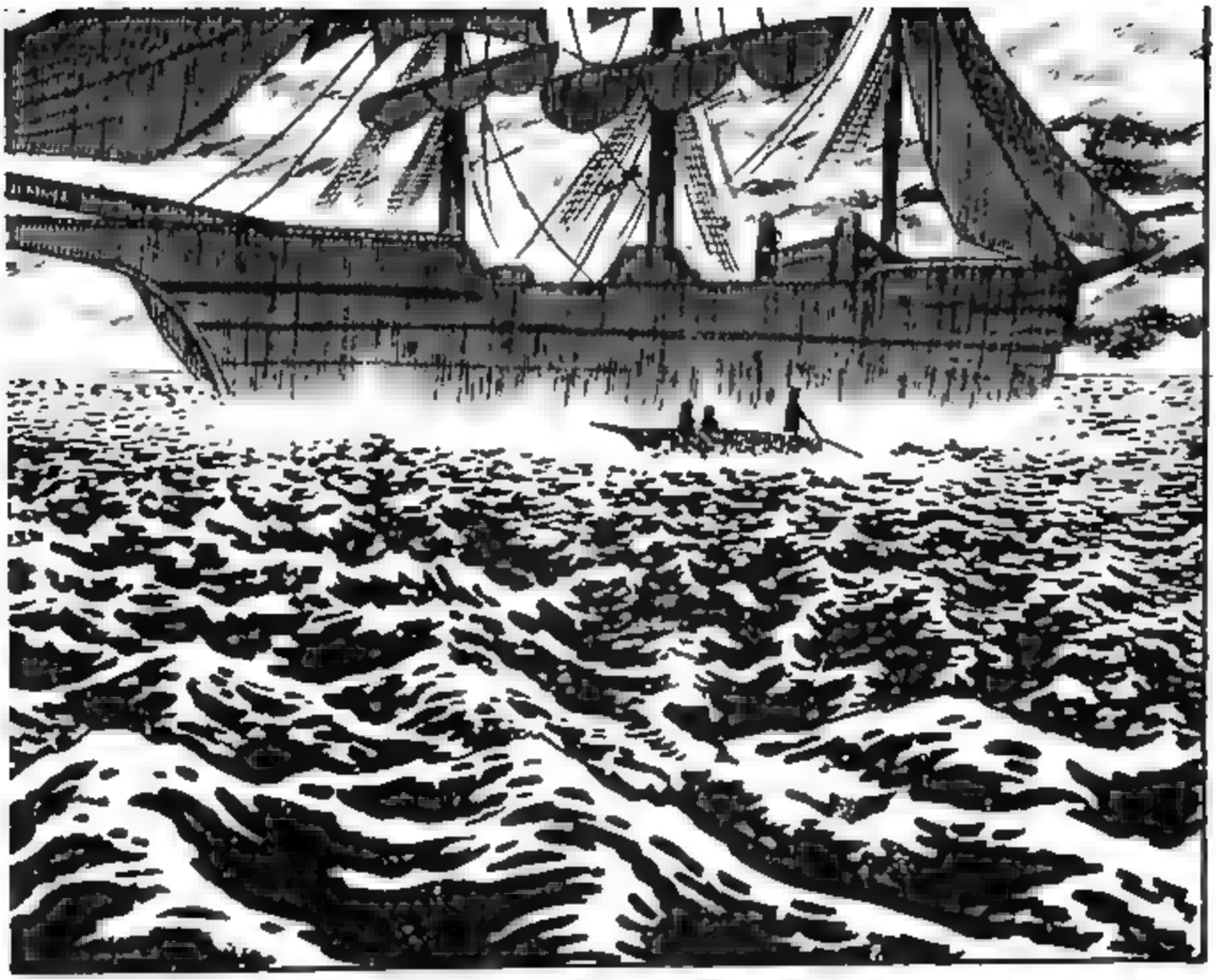
どうじゃ
万吉!!
あっ……
あほんだら
わいは　そんな話で
きたんとちゃうわい
おばばが横どりした
友子ちゃんちの
ことで
きたんやど!!
それを
いったい
どうしろという
のだ……小憎

そっ……
それはつまり
その……
かえして
ほしいんじゃ
……
うわあっ
ははは
あまったれるな!!
これから わしのいうことを耳の穴かっぽじいてよう〜く聞けい!
小僧……

あれは大人の世界のけんかじゃ
一対一の勝負じゃ
岡野建設の社長はぼっとしておったから わしに負けたんじゃ
大人の世界のけんかにな……
け……けんかやと……
おぬしもけんかをやったことがあるなら……
負けた時は負けをはっきりみとめるだろう
負けを負けとみとめんでうじうじいう奴はけんかをやるしかくがない
ケッ…
他人のものをぬすんでおいて……なんぬかしとんね

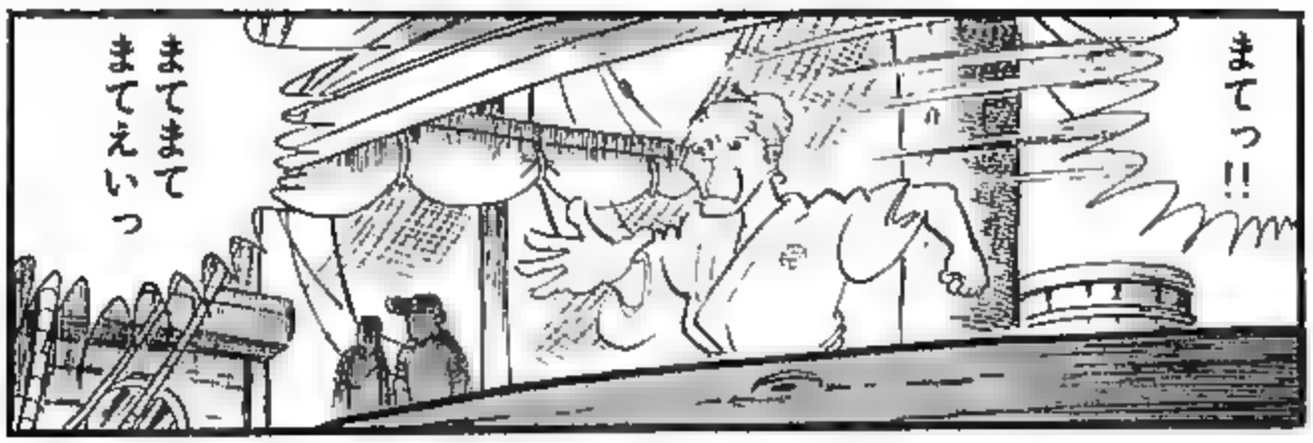
だまれいっ!!
大人の世界がなにもわからん小僧が 何をいうとるか
ちょっと馬鹿をうりものにして有名になったからといって
一人前の顔をしてわしに意見しにくるとは馬鹿もそこまでいけばりっぱなもんじゃ
くっ……
万吉くん……
わしは なにをしてでも きみの世話はさせてもらうよ
くそーっ
ウ…
手をついてなんじゃそのまねは
たしかにわいは 何もわからん……しかし……

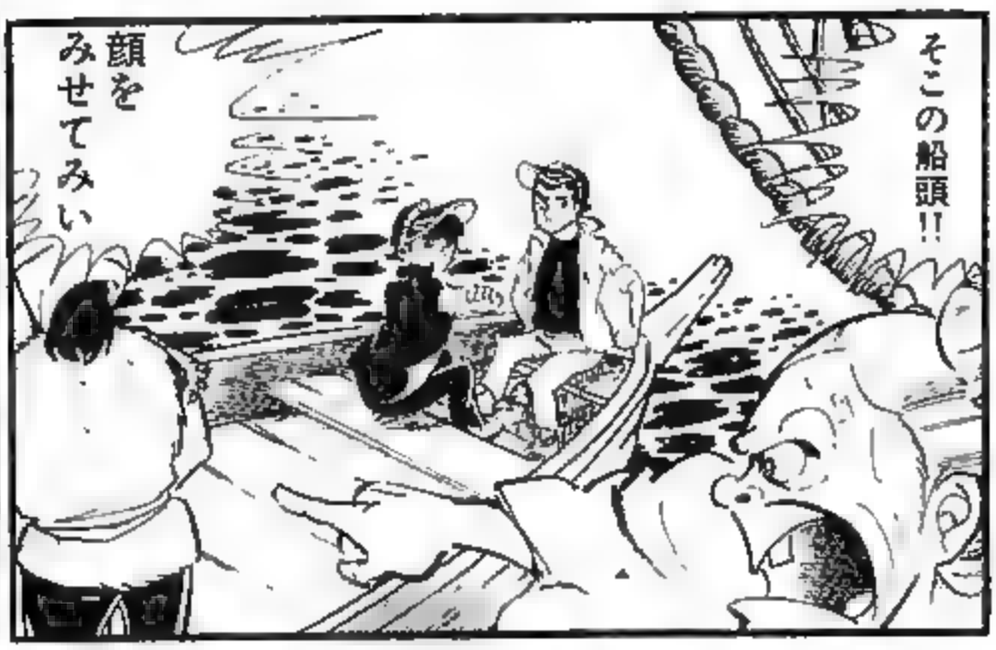
あんたは
大金持ちや
だったら会社の
一つや二つ
どうってこと
あれへんやろ
かえしてやって
ほしいんじゃ
わああっはは
はははは
あまい男
だのう
おぬしは
たしかに
わしにとって
岡野建設など
たいしたことは
ない しかし……
これは
勝負じゃぞ
勝つか
負けるかだ
わしら相場師にとっては
すべてか ゼロかじゃ
そこには
そんな あまっ
ちょろいものが
通じると思うか……



ふふ……
負けをみとめて帰るか　万吉
だせ！

それは　それとして　どうじゃ……
わしの養子になる話は……
ふふ……
だめか…
しかしいつまでもまっておるぞ…
うっ…
だしますぜ…
ああ…

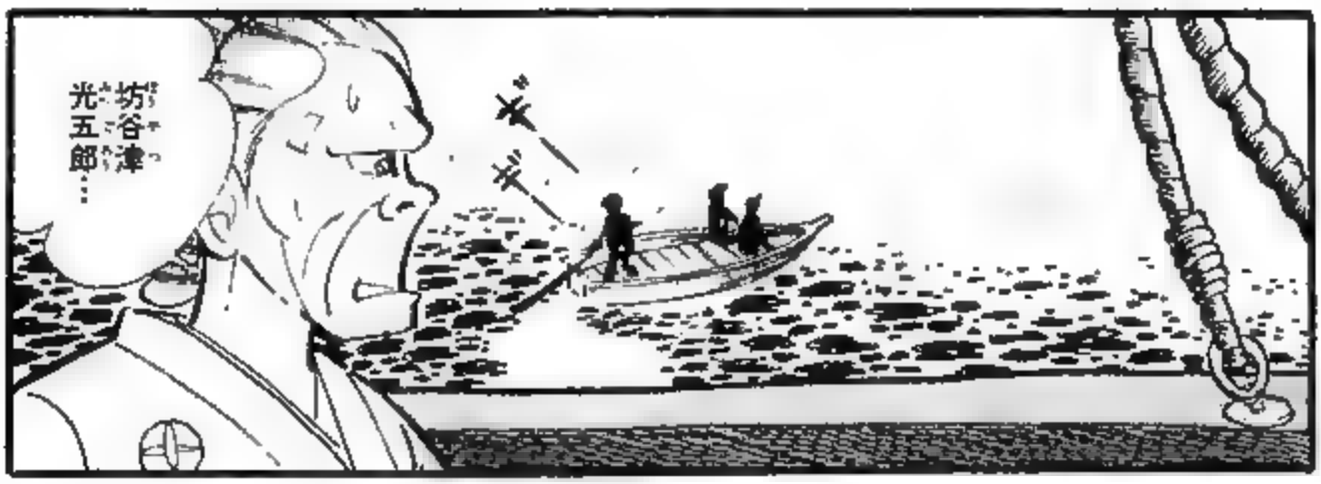

まてっ!!
まてまてまてえいっ


そこの船頭!!
顔をみせてみい

ふっ…
ふふふ

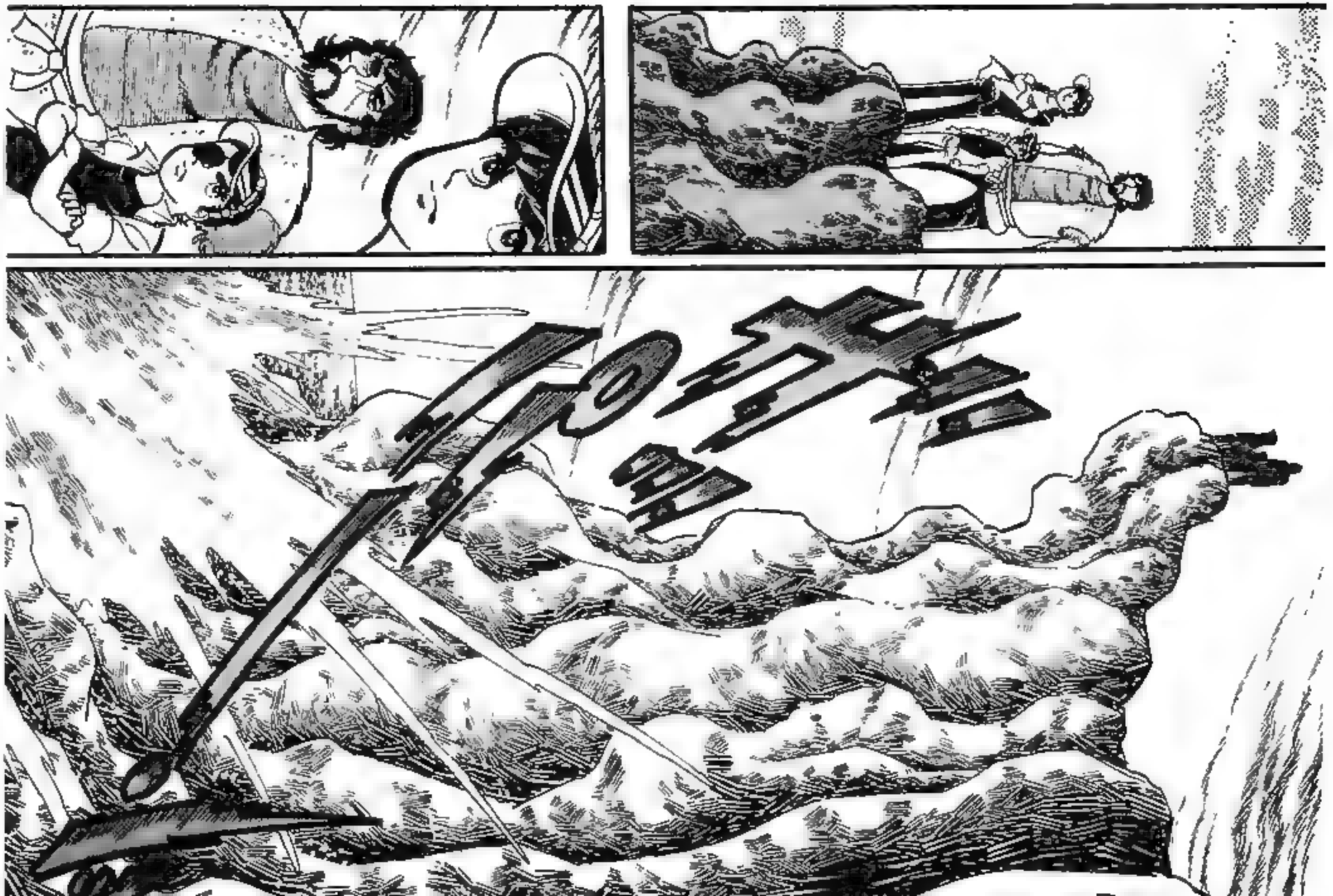
ひさしぶりですなあ……おばば

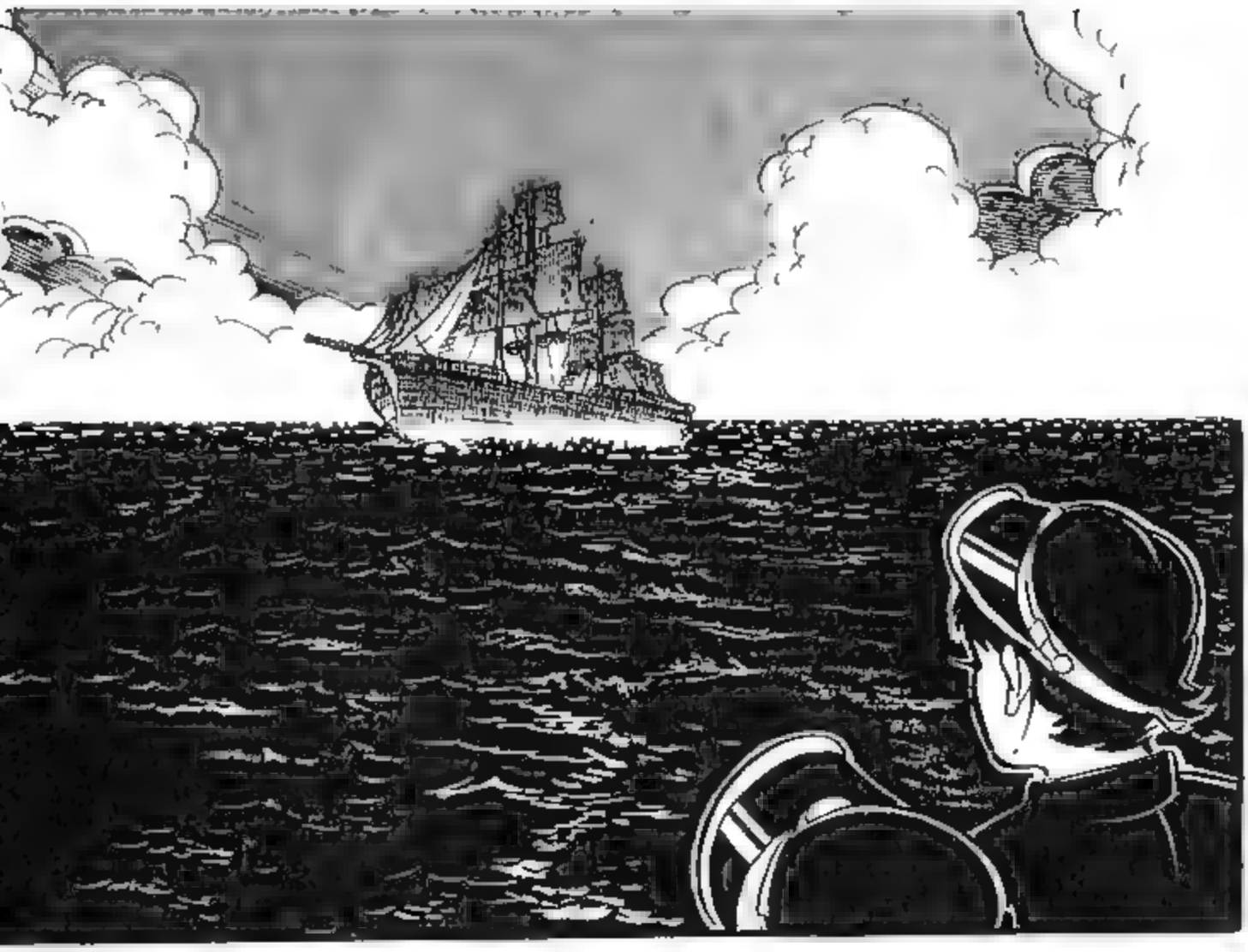
おっ…
おまえさんは
ふふふ……


坊谷津光五郎…
ギーギー

十七年前…
あまりにも 派手に
動きすぎ 財界の
大物に 圧力を
かけられたが…

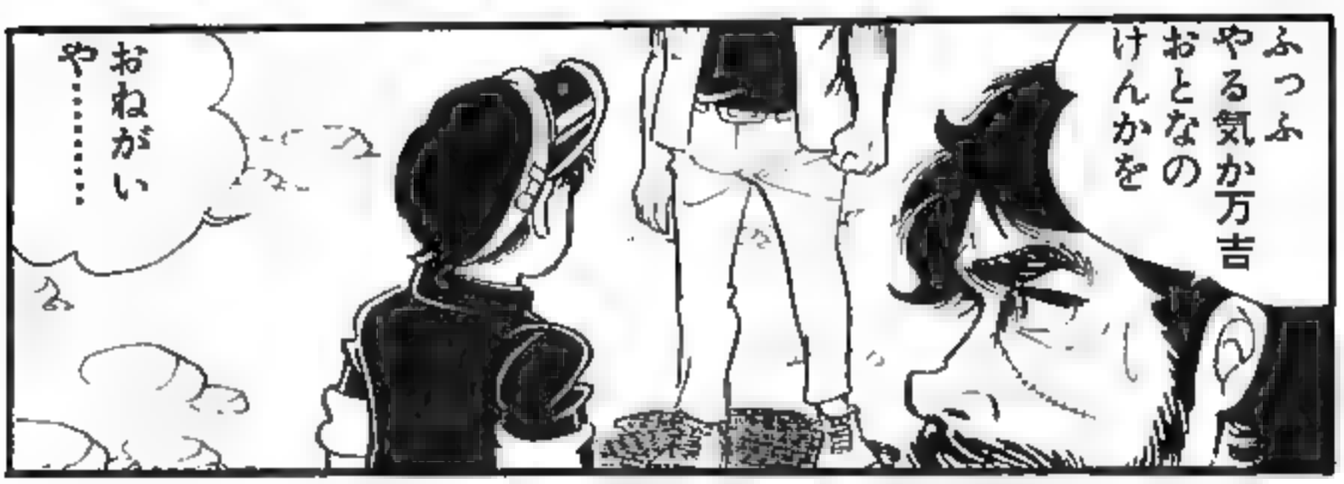
一時期 日本財界に
台風のごとく
あばれまわった男
そして
いずこともなく消えて
いった 不遇の相場師
あの光五郎が
万吉の軍師として
動きだしたら
……

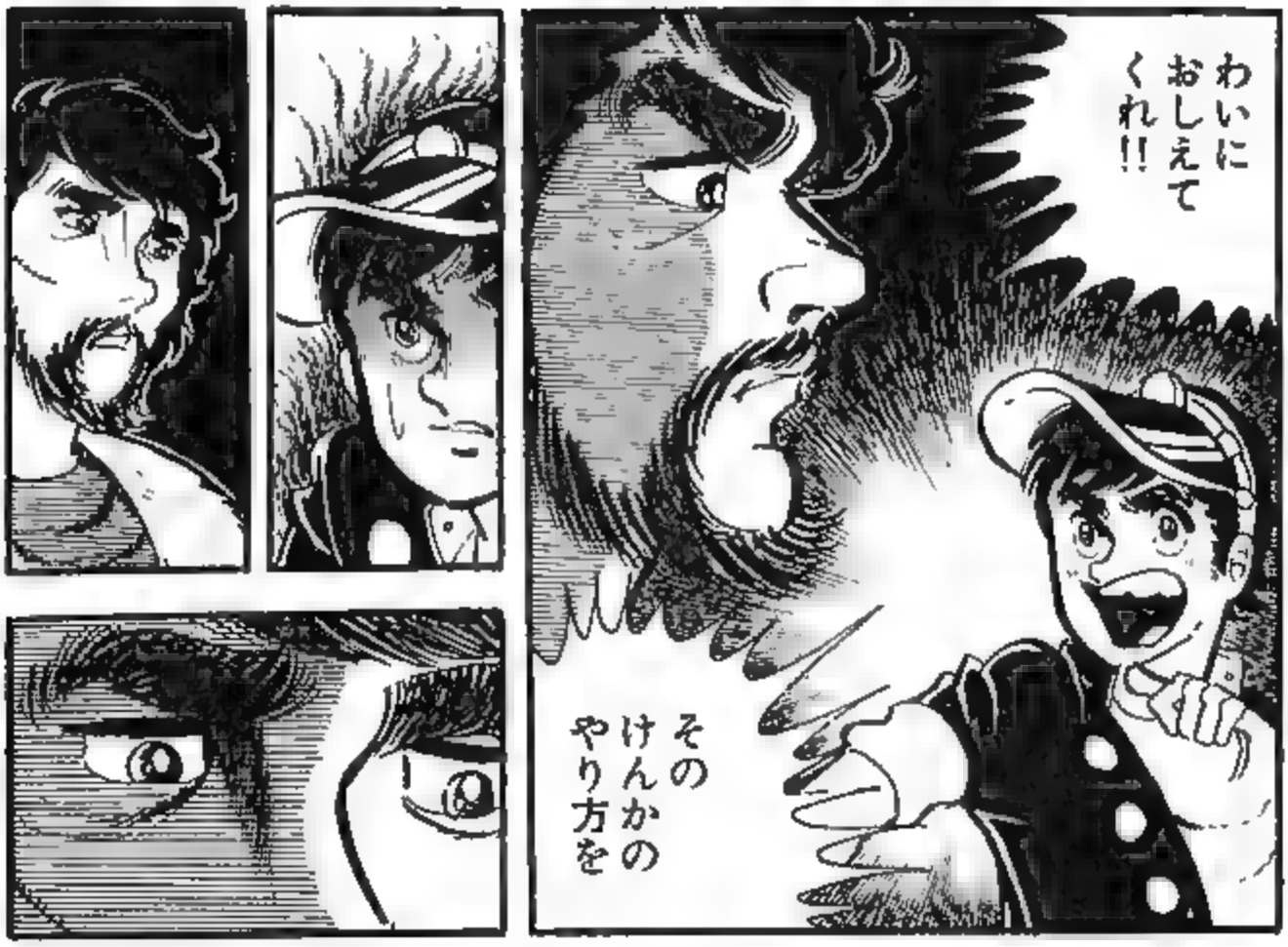

FOR THE



頭……
ン……

あんた
おとなの世界の
けんかを知って
るか……
株屋…
相場の世界を
……


ふっふ
やる気か万吉
おとなの
けんかを
おねがい
や……


わいに
おしえて
くれ!!
そのけんかのやり方を

光五郎みたか…
この岡野の建設
のっとりの記事…

万吉の性格から
して かならず
のりこんで
行く

たしか 万吉めは
この家に世話になっ
とるはずじゃ
のっとりの相手は
水戸のおばば…

ふっふふ…

これで　やつのめざす道は……
きまる!!

どうじゃ　おぬし　今一度相場の世界へもどらぬか…
あの万吉の軍師として

どうなんじゃい頭!!
ン…

わいは…わいは本気や…

あのおばばと勝負したる……
万吉…なんのためにわしが 東京へでてきたと思う
それを…おまえにおしえるためだ…
おとなのけんか…相場の勝負をな……
ほ……
ほんまか頭!!
男に二言はない!!

うっみあ
あぁーっ!!
やる!
やったるどっ
銀次!!
わーっ 水戸の
ばばあがなんじゃい
のっとり屋が
なんじゃい
ギッ
わいは
わいは…
親分!!
おとなの
世界へ挑戦
したる!!
相場師に
なったる!!
ガッ
ポ

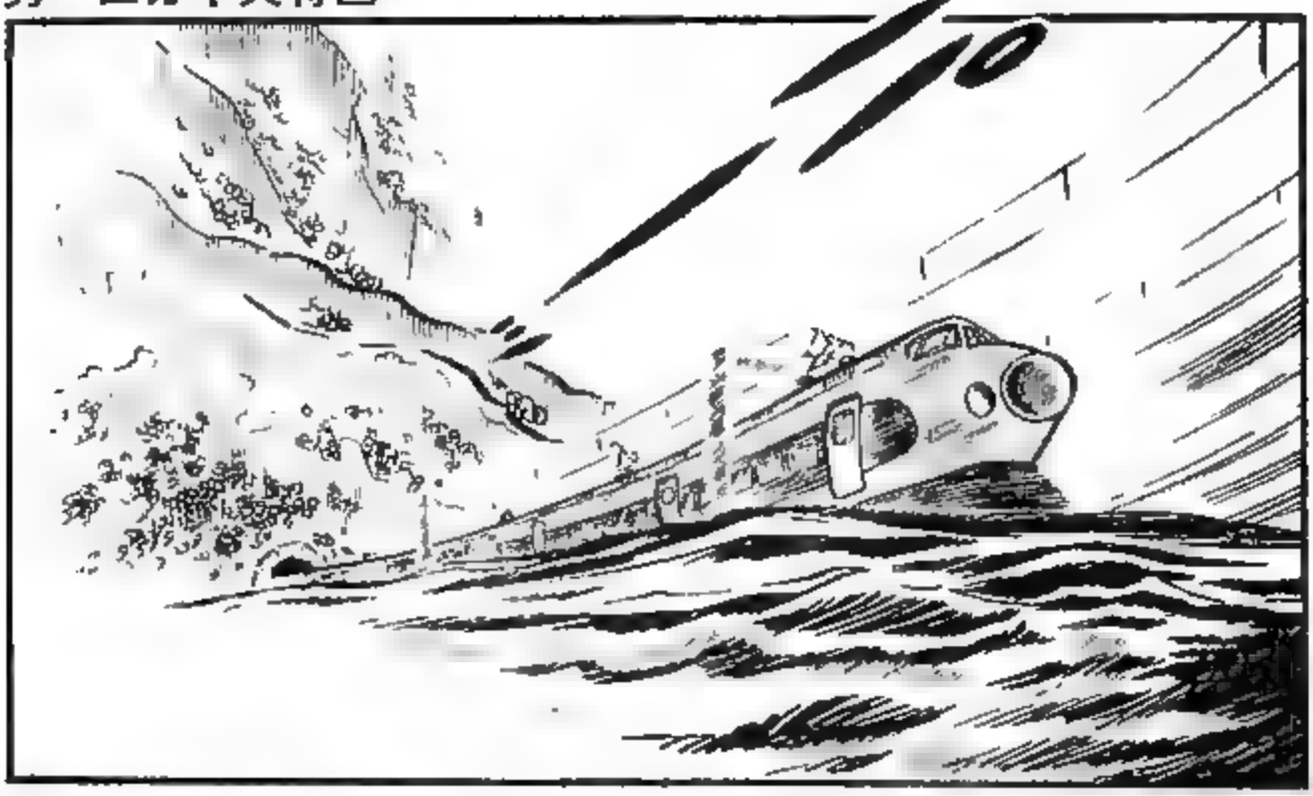
おかげで
わしのからだまで
火をふきだし
たぜ……

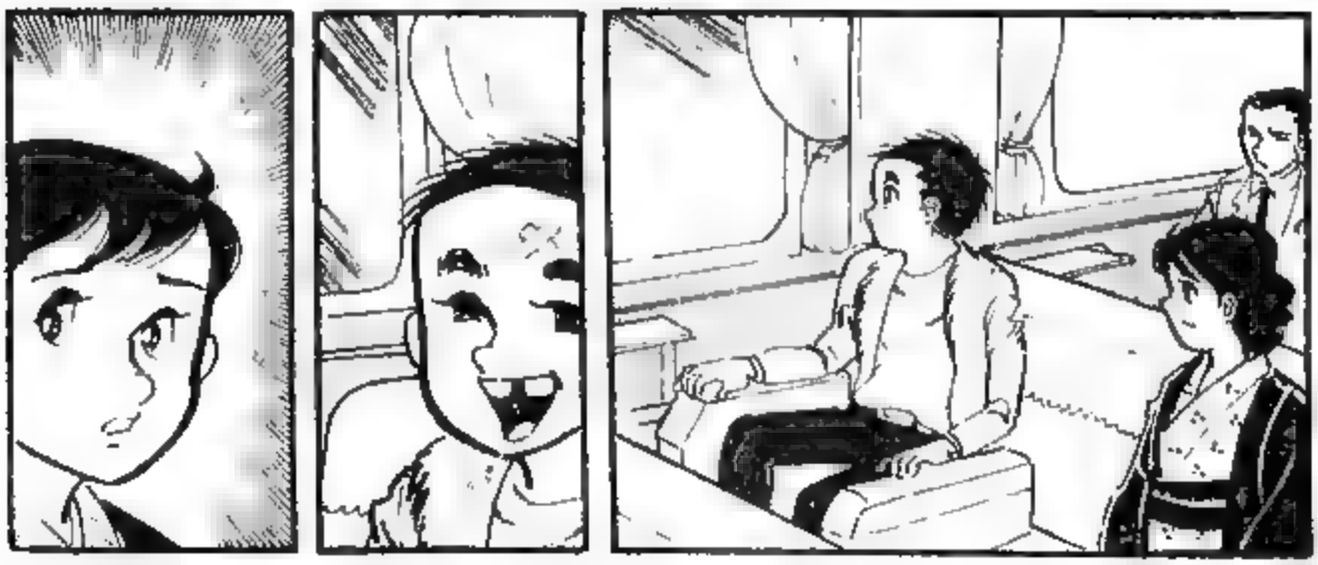
ふふ…
熱いやつだ
……
からだ中で
もえて
やがる…

ここは…

うはは
あっはっ

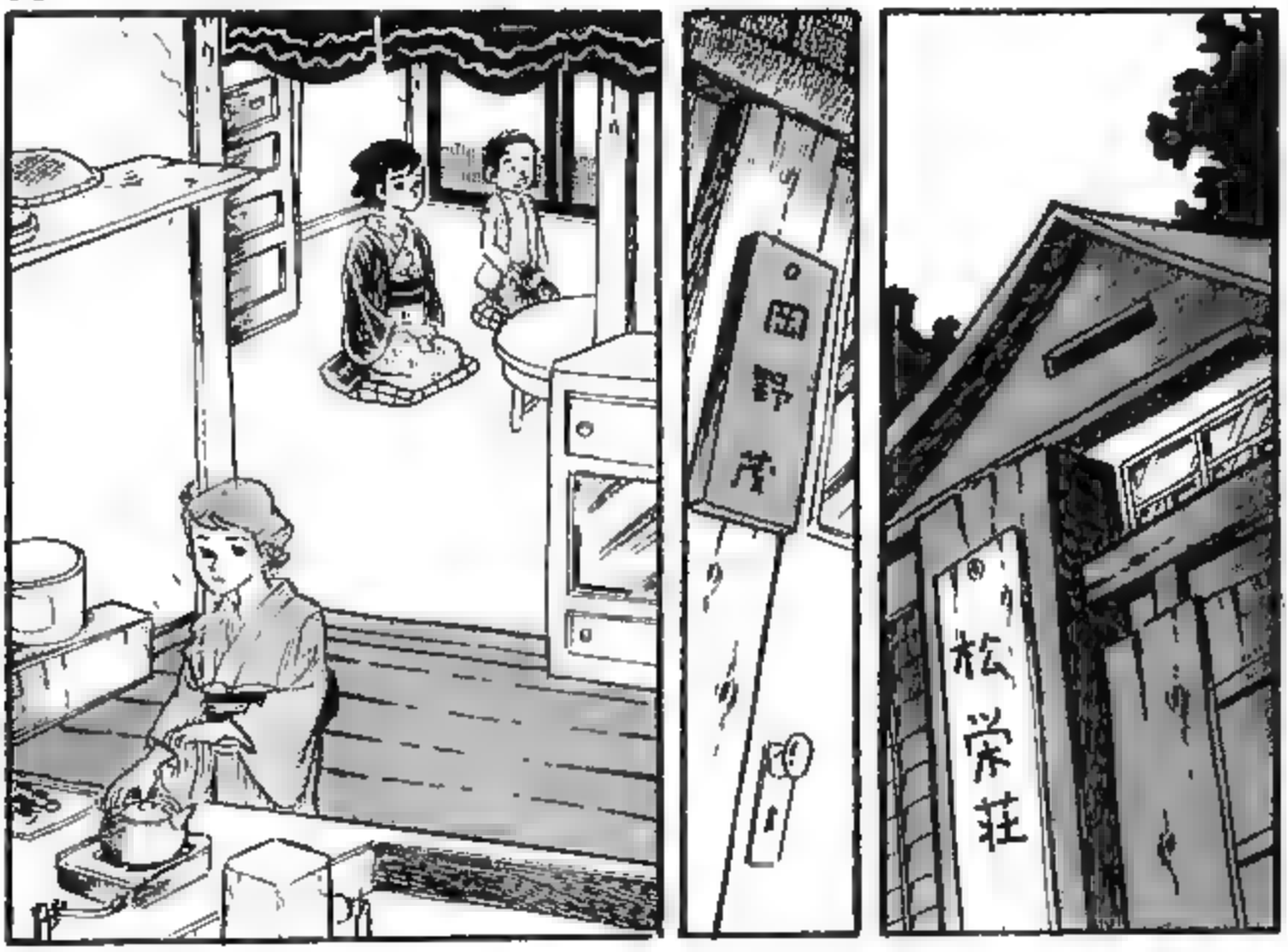
おとなの世界へ挑戦する
一匹の若虎が誕生した
時に万吉は　十五歳を迎えたばかり
その背中を満月が
こうこうとてらしていた





ねえ　おばさん
万吉親分を
ほんまにつれて
帰るんやな
えっ……ええ……
友子ちゃんの家が
あんなお気の毒な
ことになって
しまって
これ以上　万吉を
おいて　迷惑は
かけられへん
もんね……

へっ…
へへ
帰ってくるんや
わいらの
万吉親分が
また西海へ
もどって
くるんや……
ワーッ
ほんまだっか
ほんまに
帰って
きまんねん
な
すげえや
すげえや
万吉親分が
帰って
きやはるんじゃ
へへ…
あいつら
よろこぶ
やろ
なっ
どうしたの
ラッパちゃ
ん……
えっ
なんでも
あれへんよ
えっへへへ…


松栄荘
田野井

このたびは
ほんとに
なんと
申しあげて
よいやら
いやあ…
もう こんな
むさくるしい所で
どうも…

なにもかもすま
せて 今はこの
とおりです
まったく
わたしが
ふがいない
ばっかりに

あの……
それで
万吉は
どこに…
銀次と
ふたりで
どっかへいっ
たんでっか
これ以上
こちらさまに
ごめいわくを
おかけでき
ませんので
いちおう 万吉を
西海へ つれて
帰りたい
思いまして…
ワーッ
すっ…
すまん
!!
ど
どう
なさった
のですか……

どっ…どないしたんや
万吉親分になにかあったんでっか…
行方不明なんです…
なっなんやて……
警察へもそうさく願いをだしているんですが……
八方手をつくしてはいるんですが……
水戸会長を追って葉山までいったのは わかっているのですが……
それ以後がまったくわからんのです……

わいはやっぱり アホウやの巻

チチチ…

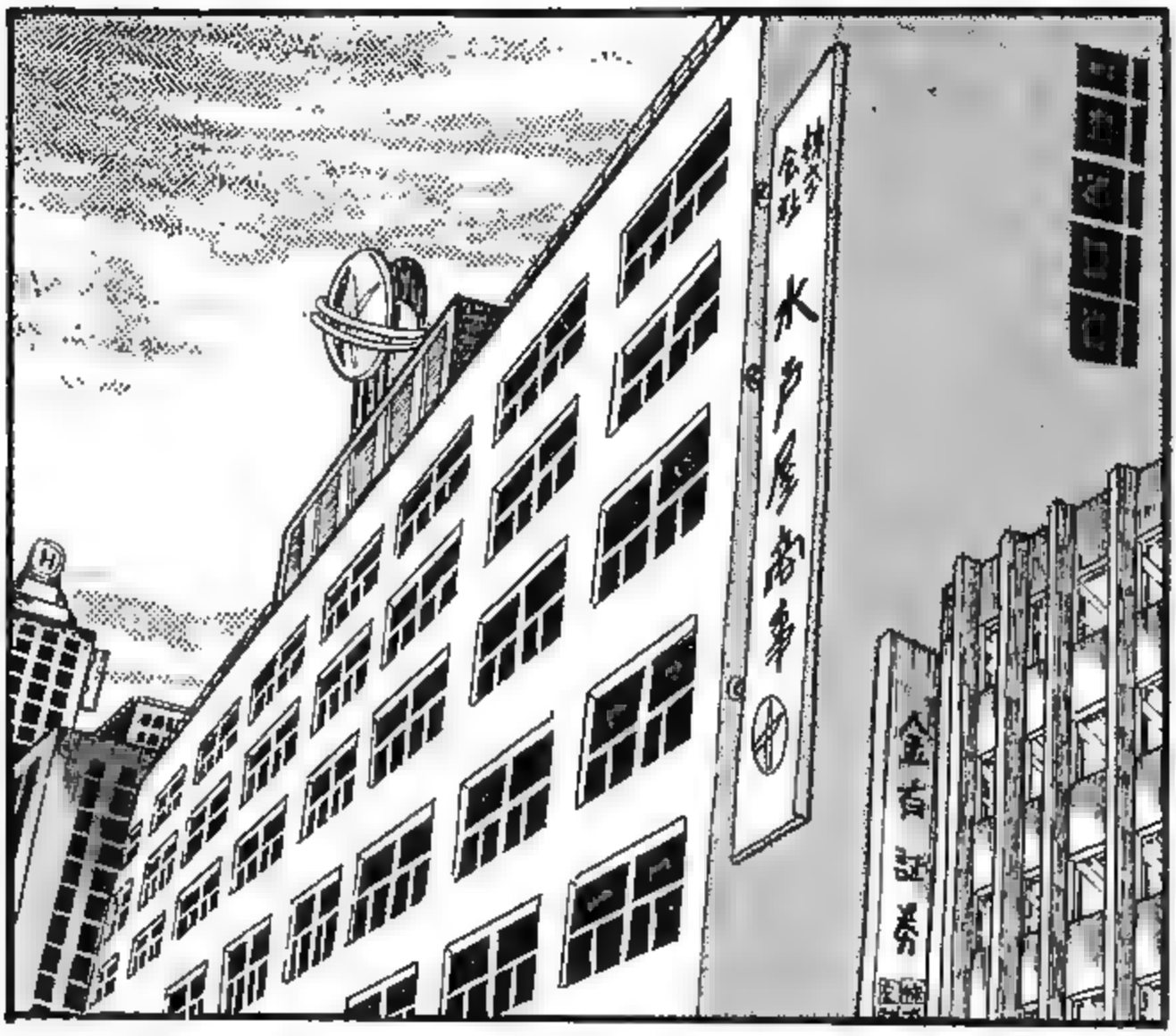
親分……
めしだ
めしが
できました
ぜ……
カリ

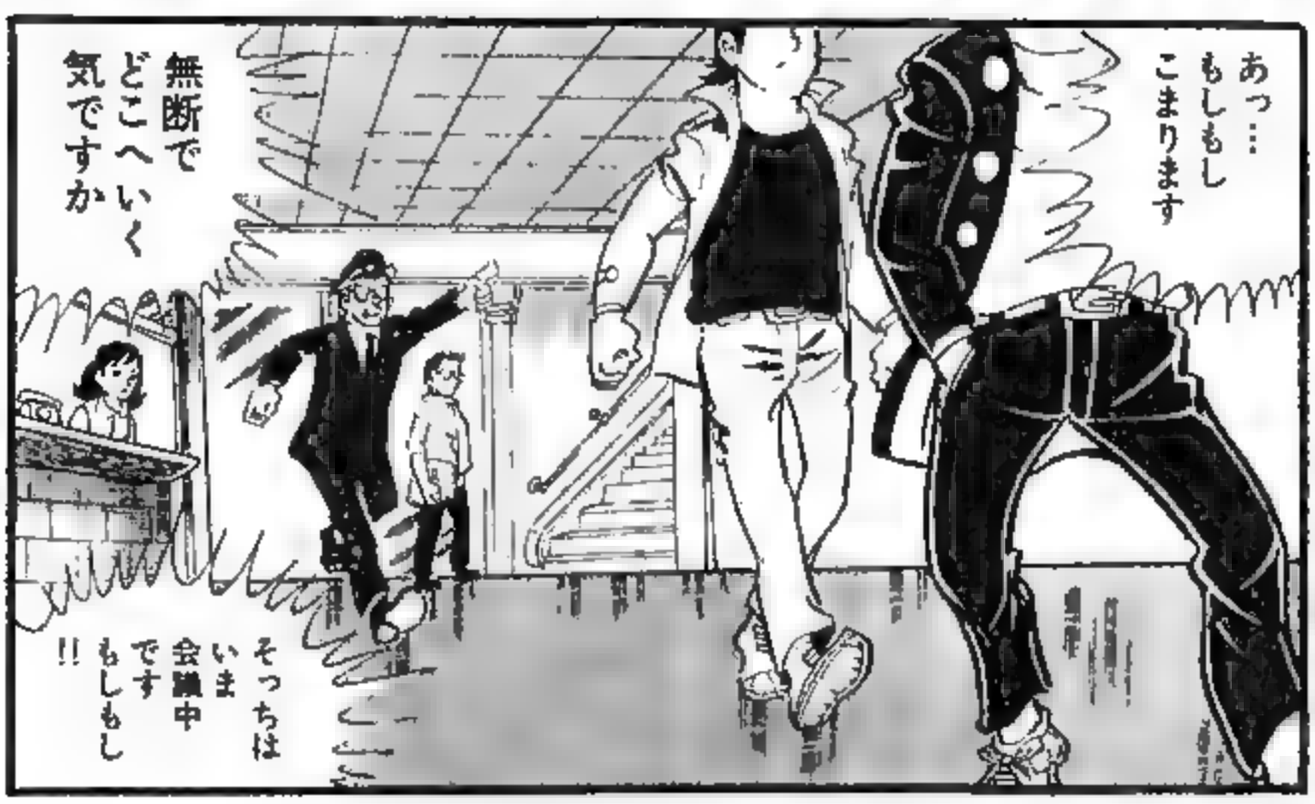
りんご
株式会社
ねえ……
親分
ふふ……
ふっふふ
……

はっはは
はは……
ふ…
うわあっ
はははは
は！
へっ……
へえ…
親分!!
めしだめしだ
めしをくうぞ
銀次!!
ふふ…
山をおりる時が
きたようだな
万吉……
頭……!!

そのつらつき
どうやら
おとなの
けんかが
わかった
らしいな
へっへへ……
この山で 三か月
頭におしえてもらった
株の世界……ぜんぶ
ドタマの中へ
たたきこんだぜ
あとは
実戦
ある
のみ!!
その実戦が
むずかしい
勝算は
あるのか
自信は…
ある!!
わいにはなにもない
負けても
とられるものが
あらへん……
だから
勝てる
ふっふふ
……
まじめな
顔をして
よう
いいおるわい…

その捨て身の根性を忘れるな
勝つことのみに全力をつくせるかできる!!
あとはおぬしの度胸とカンだけだ!!
ようしそっこく山をおりるぞ万吉!!
おおっやったるわい銀次めしだめしだ!!
へい!!

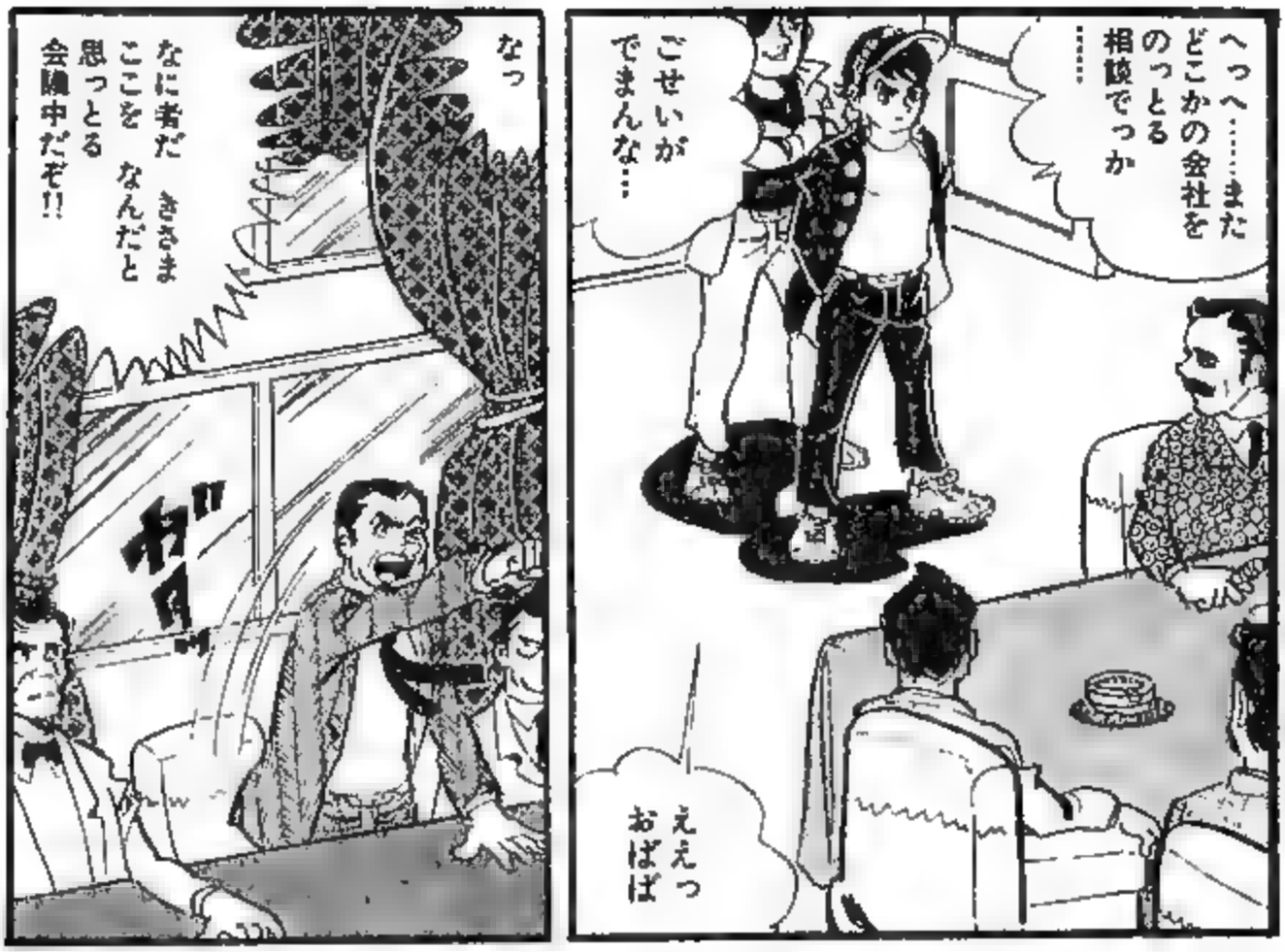

株式会社 水戸屋商事
金百証券


あっ…
もしもし
こまります
無断で
どこへいく
気ですか
そっちは
いま
会議中
です
もしもし
!!

おいこらきみ!!
じゃかましい
…う
戸川万吉さまが生まれかわって水戸のおばばにあいにきたんじゃ
ですから会長はただいま会議中です
うるせえ親分がいってることがわからねえのかよ…
わっ
重役会議中
オーリャーッ!!
ここやな…

ケーッ
へへへ…
やっとる
やんけ…
古だぬき
ども…

外がさわがしいと思ったら……
おぬしか万吉……


へっへ……またどこかの会社をのっとる相談でっか……
ごせいがでまんな…
ええっおばば
なっ
なに考だ きさまここを なんだと思っとる会議中だぞ!!
ガラ

まあまあ…わたしのしりあいの者だ
はっ…はあしかし…
神田事件の万吉と銀次といえば みんな知ってるだろう……

ほ!っこの少年がそうですか……
なるほどたしかに新聞にでていたのとおなじ顔だ……
ケッ!!

それで 今日
なんの用事だ
万吉……
わしの養子に
なりに
きたのか
……
へっ……
ちょうしに
のるな……

あらためて
あいさつに
きたん
じゃい!!
ほ～っ

なにもわからん
小便たれ
小憎が……
なんの
あいさつに
きた……

なにもわからん
小憎か…
ふふ……
はっはは
はは……

わあはは
はは……

きっ
ささま
会長にたいして
なんという
態度をとるか
ざこは
ひっこんでいっ

何もわからん
小僧かどうか……

ふふ……

これから
わいのやることを
じっくり
と……

みていて
もらいたい
……

いまのままではあんたとは勝負できん……
わいは いま株屋の世界にはいったばかりのヒヨコだからのう……
しかしっ!!
ビビッ
三年の間にはおばば……
あんさんとサシで勝負でける人間になったる!!

わいの
あいきつは
これだけ
じゃい
こすっからい
古だぬき
どもめ……
かえるで
銀次!!
へえっ
へへへ…
へい!!

なっ
なんですか
ありゃあ…
なんやら
わけの
わからん
ことを
ブイ ブイ
ふいて……
なあに
ガキの
たわごと
でしょう…

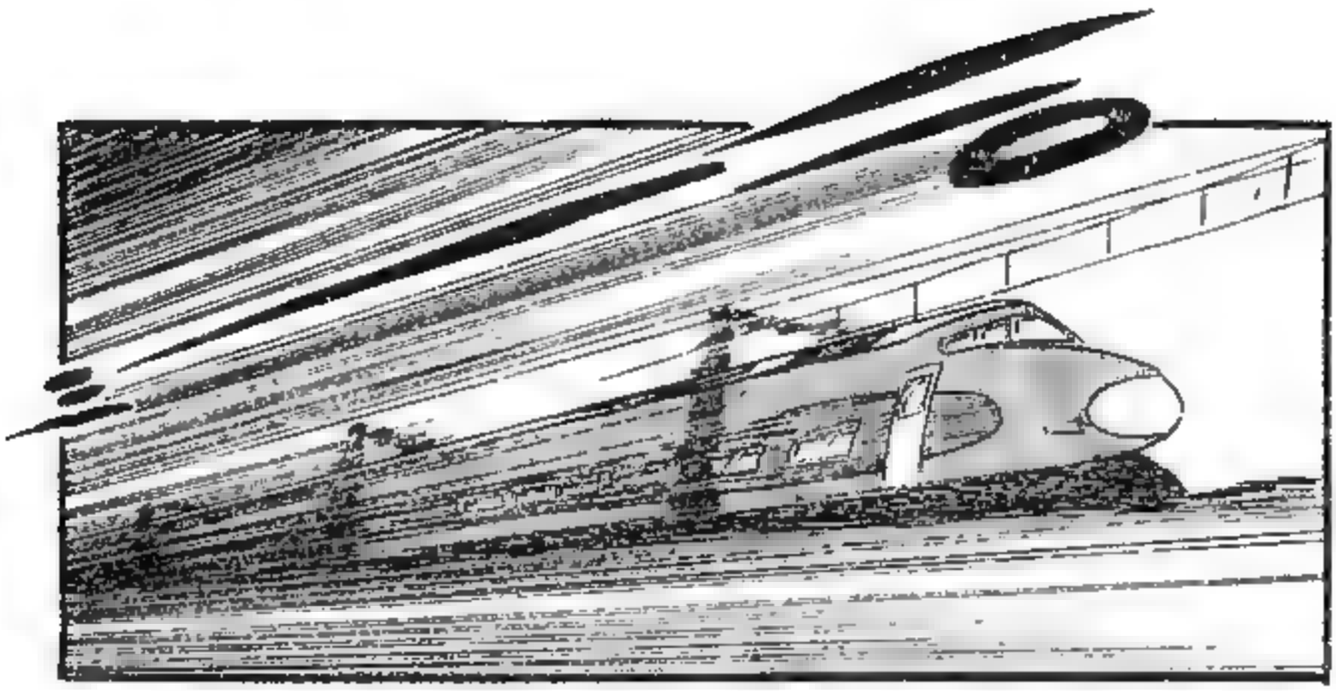
三年で
われらの水戸
会長をどうの
こうのと
いって
ましたぞ
わっはは
ほわっはっは
がはは
はは…
まったく
あんな
小僧が
なに
をやろうって
のかね

沢田
!!
はあ
これからの
万吉の
身辺と
その動き
をてって
い的に
みはれ
そして
わしにちくいち
報告するんじゃ!!

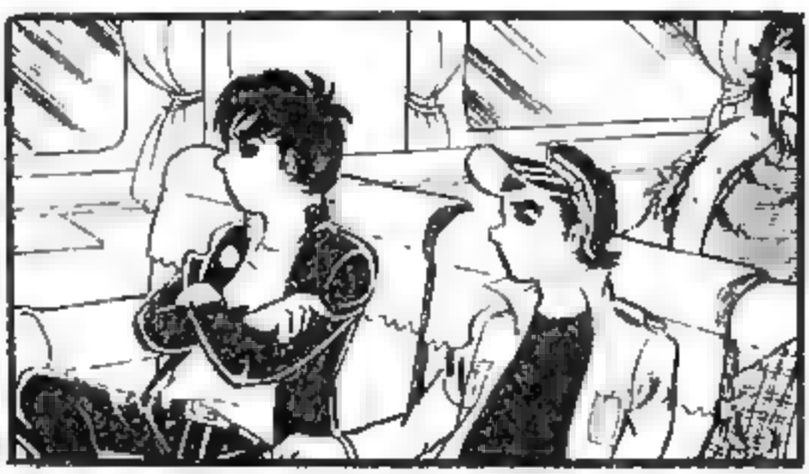
はっ…
はっ…

MITOYA
あ…
はははは
へへへ…
いたか
おばばは
……
おう
頭…
頭にいわれた
とおり
はったりを
かまして
きたでえ
……
やつら
目を丸くして
いやがったね
親分
イッヒヒヒヒ
それより 友子
ちゃんちへは
連絡して
くれたかい
……
うむ
……
おじだと
しらせたら
ふっふ…
ないておったぞ
おぬしの
いいなずけは
……
へえっへへ
へへへ……

すぐ帰ってこいといったがどうする
かえらん……
いまのわいがあの家へもどったところで…
めいわくをかけるだけや……
ふっふふ……わいが友子ちゃんちへかえる時は……
のっとられた会社をとりもどしてからじゃ……
ふふ……
へっへへ……
いくで……
どこへ
名古屋のカスミのおん大将にあいにや……



ふふ……
万吉め
わしが思って
いたより 数段
きれおるわい…



はやくも
じぶんの
体制を
かためる
気だな……

ふふふ しかし
その後の
かんじんな
もんを……
どうして作る
気かのう……

おねがいや
おん大将!!

なるほど…
それでおみしゃんのいうには……
このわしにスパイをやれというのか……
あっ……
ああ……
きこえは悪いが……
わいは 以前あんたらの情報の速さにびっくりさせられたことがある
わいが これからやろうとしている株の世界は速く正確な情報がいっちゃんだいじや……
それでおん大将の配下日本全国における浮浪者の仲間をわいの情報網としてかしてほしい……
このとおりじゃおん大将!!

それで
それに対する
ほうしゅうは
なんじゃ……
ない!!
なにも
ない!!
しかし……
それは
こまるぜ
万吉……
きさな
ようだが……
わいの将来に
かけてもらう
以外 ないん
じゃ……
おみしゃんの
将来にのう……
ふっふふ
……
おみしゃん……
どれほどの
人間かのう…
わしの配下の者
数万人がかける
だけのものが あるか
おみしゃんに……
ある!

なくても
ある!!
あんたらが
かけに勝つ
よう……
わいは……
命をかけて
死にものぐるいで
やったる
はあっはは
はっはははは……
はあっ
はははは
ン……
おん大将
……

こらあ
おもしろい
カケですな
……
わしゃあ
カケてみたい
ですぜ……

わしもだ
……
おれも
……

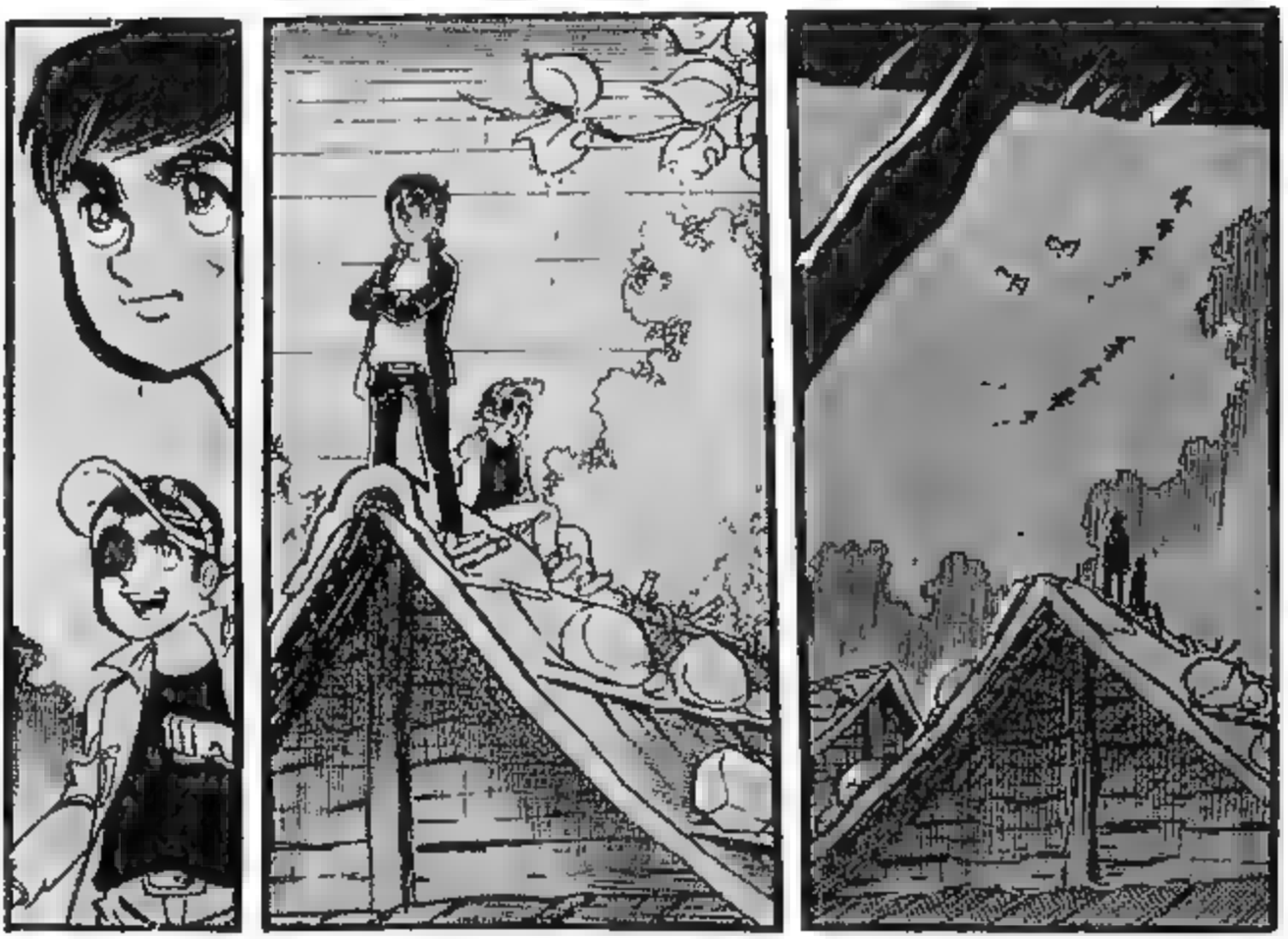
おれっちも
やる

わいにも
一口のせて
んか……
エッヘヘヘ…
やってみてえ

ヘッヘ
……
ヘッヘ
ヘッヘ…

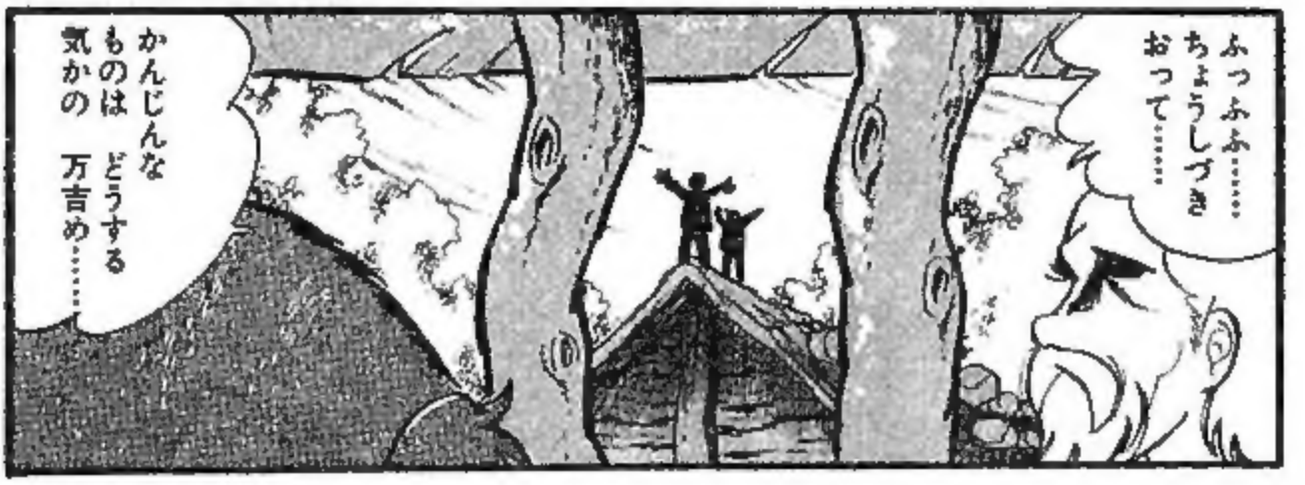
ふっふ
……
命をかけて
カケに
むくいるか
……

聞いてのとおりだ……
……
……
ひけうけよう……
あ……
ありがてえ!!
親分!!
銀次!!



みてみい
太陽や
で〜〜〜〜っ
太陽が
のぼってきたで
銀次……
へい！
これでわいの
体制は
かたまった
……
あとは
やるだけじゃ
ふふ……
あの太陽は
……

わいのために
のぼってきたんや
……
地球は　この
戸川万吉さまを
中心にまわっとるん
じゃい!!
うわあっ
はっはっ
はっ!!

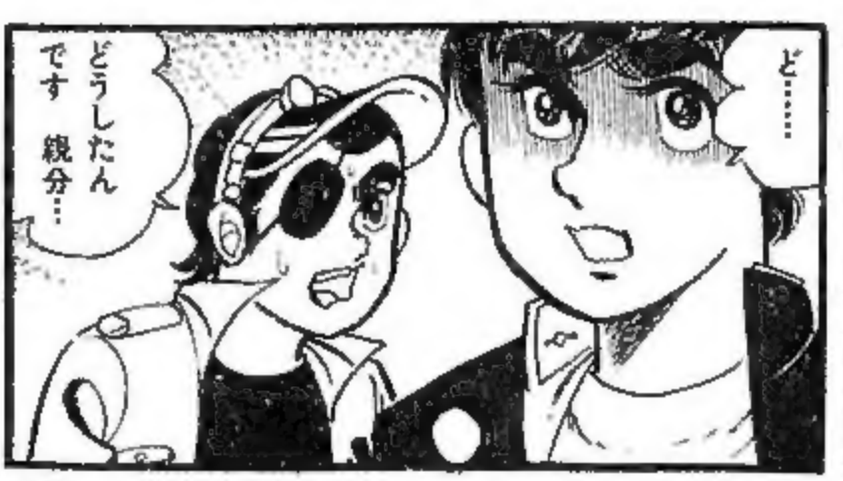

ふっふふ……
ちょうしづき
おって……
かんじんな
ものは どうする
気かの 万吉め……

わあっはは
ははは

あはっは
はは……

は
……

……
……


ど……
どうしたん
です 親分…

ねっ……ねえ
万吉親分
うわあ!!
…は
親分!!
ばかだ　ばかだ
わいは　大ばか
もんじゃい!

ケッ なにが地球がまわるじゃ太陽がのぼるじゃ
親分……
気がついたな万吉め……
いちばんだいじでいちばんかんたんなことを 考えずにちょうしにのっておったとは……
ケーッわいほどのドアホはおれへん
やつも やはり若すぎるのかのう……光五郎……
さあこれからがみものですな